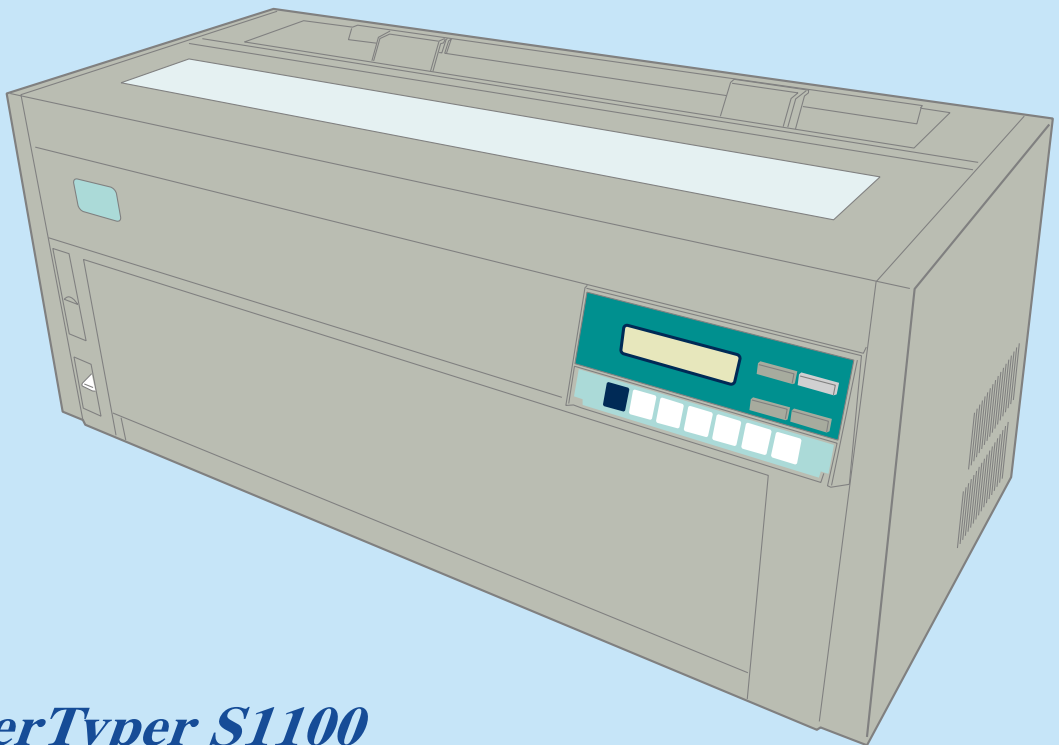




ネットワーク設定ガイド



PowerTyper S1100

PowerTyper S2100

第1版 2016年8月

- 本書はそれぞれのOSにあわせて注意深く用意しておりますが、将来バージョンアップやOSに変更のあった場合など、パソコンのモニターに実際に表示される表現と差異が出る可能性があります。ご了承ください。
- 本書に記載された仕様、その他については改良のため変更することがあります。

- IBM、AIXはIBM Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows等は米国 Microsoft Corporationの米国及び他の国における登録商標です。
- UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国および他の国における登録商標です。
- LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Ethernetは米国ゼロックス社の商標です。
- その他、記載されている社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

本書は、PowerTyperのネットワーク機能の設定について説明します。本書は、PowerTyper S1100/S2100を設置する導入担当者および操作員の方々を対象にしています。



本書はPowerTyper S1100/S2100に対応しておりますが、本文中の表示例や設定例はS2100で表記しています。機種に応じて読み替えてご覧ください。

本書は次のように構成されています。

第1章 『プリンターのネットワーク設定』

プリンターのネットワーク設定について説明しています。

第2章 『ユーティリティソフトウェアについて』

PowerTyper S1100/S2100ユーティリティソフトウェアの概要について説明しています。

第3章 『Windows環境で使用する』

Windows環境での使用方法について説明しています。

第4章 『UNIX/Linux環境で使用する』

UNIX/Linux環境での使用方法について説明しています。

第5章 『設定に関する機能』

ネットワークの詳細な設定を行う方法について説明しています。

第6章 『Network Monitor』

Network Monitorの機能について説明しています。

第7章 『Q&A』

想定される問題とその解決方法について説明しています。

また、補足情報として次の付録を用意しています。

付録A 『対応プロトコル』

付録B 『IPv6機能について』

付録C 『Network Plug&Playについて』

付録D 『E-Mail警告通知機能 (SMTP)』

付録E 『E-Mail印刷機能 (POP)』

付録F 『管理情報を確認する』

関連マニュアル

装置本体の設定を行う場合は、「設置・操作ガイド」を必要に応じて参照してください。



使用環境によっては、以下で説明している導入手順と異なる場合があります。



使用しているパソコンに、あらかじめプリンター・ドライバーをインストールする必要があります。

目次

はじめに.....	ii
第1章 プリンターのネットワーク設定	1-1
ネットワーク設定項目.....	1-1
ネットワークの設定手順.....	1-2
ネットワーク設定の内容確認.....	1-5
ネットワークの接続確認.....	1-8
ネットワーク設定の初期化.....	1-12
第2章 ユーティリティソフトウェアについて	2-1
ユーティリティソフトウェアを使用する.....	2-1
セットアップについて.....	2-2
第3章 Windows環境で使用する	3-1
Windows環境からTCP/IPで印刷する.....	3-1
パソコンのネットワーク設定を確認する.....	3-2
Quick Setupによる簡単設定.....	3-4
LPR Remote Printをインストールする.....	3-7
プリンター・ポートを追加する.....	3-10
NetBIOS over TCP/IPで印刷する.....	3-17
NetBIOS over TCP/IPのネットワーク設定を確認する.....	3-17
NetBIOS over TCP/IPで印刷する.....	
NetBIOS over TCP/IPで印刷する.....	3-18
NetBIOS over TCP/IPワークグループの構造.....	3-19
OS標準の印刷クライアント機能で印刷する.....	3-21
Standard TCP/IPポートで印刷する.....	3-21
LPRポートで印刷する.....	3-25
IPPポートで印刷する.....	3-28
第4章 UNIX/Linux環境で使用する	4-1
IPアドレスの設定.....	4-2
BOOTPによる設定.....	4-2

RARPIによる設定	4-3
ARPIによる設定	4-4
hostsファイルの設定	4-5
LPDを使用した印刷	4-6
AIX 4.x.x環境で使用する	4-6
FTPを使用した印刷	4-8
印刷する	4-9
状態を確認する	4-11
第5章 設定に関する機能	5-1
Print Managerで設定する	5-1
Print Managerを起動する	5-2
Print Managerで本製品を検索する	5-3
Print Managerの機能	5-4
Print Managerで本製品の設定を行う	5-7
プリント・サーバーの設定	5-7
LPR Remote Printのポート設定 (LPR、RAW)	5-16
Webブラウザで設定する	5-18
本製品のWebページを表示する	5-19
本製品のWebページから設定する	5-21
TELNETで設定する	5-23
Webブラウザ/TELNET設定項目	5-24
プリント・サーバー機能	5-24
E-Mail受信 (POP)	5-30
E-Mail送信 (SMTP)	5-31
第6章 Network Monitor	6-1
Network Monitorについて	6-1
Network Monitorの起動	6-1
Network Monitorの表示 (フルモードの場合)	6-2
オプション設定ダイアログ	6-4
第7章 Q&A	7-1
導入時の問題	7-2
印刷時の問題	7-5
Windows TCP/IP環境での問題	7-6
Windows NetBIOS over TCP/IP環境での問題	7-9
その他	7-9

付録A 対応プロトコル	付-1
付録B IPv6機能について	付-2
IPv6とは?	付-2
IPv6機能概要	付-3
利用方法	付-4
付録C Network Plug & Playについて	付-5
付録D E-Mail警告通知機能 (SMTP)	付-6
付録E E-Mail印刷機能 (POP)	付-9
付録F 管理情報を確認する	付-11
プリンターの論理ポートステータスを確認する	付-11
プリンターの印刷ログを確認する	付-13

第1章 プリンターのネットワーク設定

ここでは、本製品をネットワークに接続するための設定項目および設定方法について説明します。

ネットワーク設定項目

	項目	設定内容	工場出荷設定
ネットワーク 設定	DHCP セッテイ	ネットワークのDHCPを設定します。	ムコウ
	IP アドレス	ネットワークのIPアドレスを設定します。 ※ DHCP設定が有効時、この項目は表示されません。	000.000.000.000
	サブネット マスク	ネットワークのサブネット・マスクを設定します。 ※ DHCP設定が有効時、この項目は表示されません。	000.000.000.000
	ゲートウェイ アドレス	ネットワークのデフォルト・ゲートウェイ・アドレスを設定します。 ※ DHCP設定が有効時、この項目は表示されません。	000.000.000.000
	エラー ヒョウジ	ネットワーク上での通信障害があった場合、その内容を表示するかどうかを選択します。	ムコウ
	NW モニタ	ネットワーク上でのステータスを単票ランプと点検ランプを使用して表示します。 単票ランプ：パケットを受信すると一定時間点滅します。 点検ランプ：ネットワークに接続すると点灯します。	ムコウ

ネットワークの設定手順

プリンターの操作パネルを使用してネットワークの設定を行います。
標準的なTCP/IPを使用した印刷に必要な設定は、以下の通りです。

まず、DHCPの設定を確認します。

1. 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、下段選択スイッチを押して、「ゲダン キノウ」と表示されていることを確認します。



2. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「5 インターフェース セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。



3. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「IF:ネットワーク セッテイ」を選択し、設定スイッチを押しします。



4. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「DHCP セッテイ」を選択し、設定スイッチを押しします。



5. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「ユウコウ」あるいは「ムコウ」を選択し、設定スイッチを押しします。



DHCPを有効にした場合、以上でネットワーク設定は終了です。
印刷スイッチを押し、「5 インターフェース セッテイ」を終了します。
初期診断テストが実行されます。



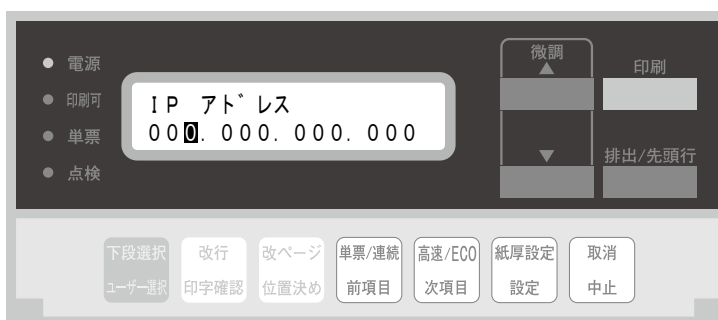
DHCPの設定が有効の場合は、「IP アドレス」、「サブネット マスク」、「ゲートウェイ アドレス」を表示しません。これらは自動的に取得されます。

DHCPを無効にした場合、「IP アドレス」、「サブネット マスク」、「ゲートウェイ アドレス」を設定する必要があります。引き続き、以下の通り設定してください。

6. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「IP アドレス」を選択し、設定スイッチを押します。



7. 設定スイッチあるいは中止スイッチを押して、数値を変更したい桁までカーソルを移動させます。次項目あるいは前項目スイッチを押して数値を選択します。
第4桁目で設定スイッチを押すと設定値を記憶します。



次項目あるいは前項目スイッチを押し続けると、連続的に数値が変化します。

8. 「サブネット マスク」と「ゲートウェイ アドレス」も「IP アドレス」と同様に設定します。
9. 印刷スイッチを押して、「5 インターフェース セッテイ」を終了します。初期診断テストが実行されます。

以上で、ネットワーク設定は終了です。

ネットワーク設定の内容確認

本製品のネットワーク設定の内容を確認します。

1. 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、下段選択スイッチを押して、「ゲダン キノウ」と表示されていることを確認します。



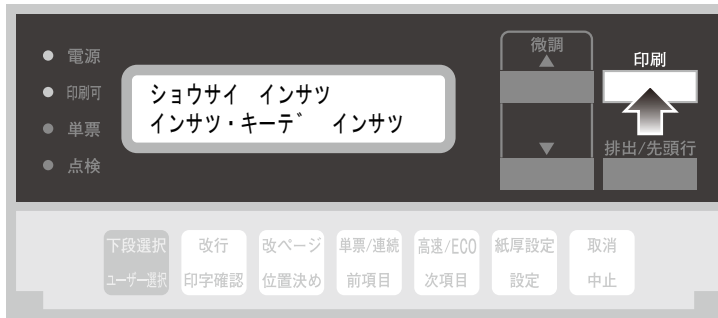
2. 次項目スイッチを押し、「1 オフライン インサツ」を選択し、設定スイッチを押します。



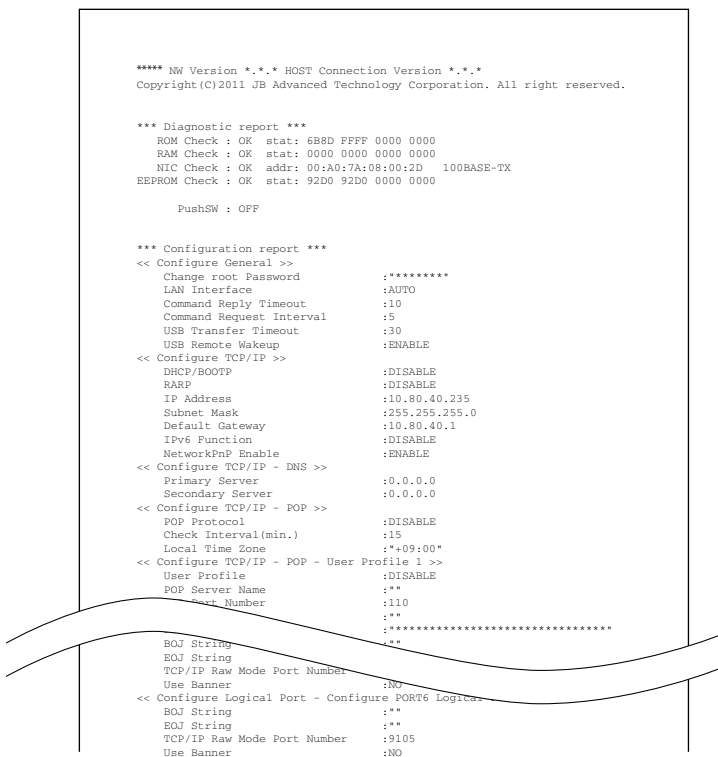
3. 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「NW ショウサイ インサツ」を選択し、設定スイッチを押します。



4. 用紙をセットし、印刷スイッチを押します。



5. 初期設定を印刷します。印刷形式は次のとおりです。
印刷したデータは記録として日付を記入して、本書と共に保管します。



6. 印刷スイッチを押します。
初期診断テストを実行し、初期設定モードを終了します。
設定した初期設定は、電源を切っても消えません。



以上で、初期設定値の変更は終了です。

ネットワークの接続確認

本製品がネットワークに正常に接続しているかを確認します。

エラー表示で確認する

1. 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、下段選択スイッチを押して、「ゲダン キノウ」と表示されていることを確認します。



2. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「5 インターフェース セッテイ」(5 Interface Setting) を選択し、設定スイッチを押します。



3. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「IF:ネットワーク セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。



4. 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「エラー ヒョウジ」(Error Display)を選択し、設定スイッチを押します。



5. 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「ムコウ」(Error) or 「ユウコウ」(Warning)のいずれかを選択し、設定スイッチを押します。



「ユウコウ」にした場合、以下の状況に応じて表示部にステータスを表示します。

メッセージ	内容
ネットワーク LINK チェック	ネットワークのリンクが切れました。
IP アドレス チェック	IPアドレス取得に失敗しました。または不正なIPアドレスです。
セッション オーバー	多重セッションによりセッション数の最大値を超えました。

NWモニターで確認する

1. 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、下段選択スイッチを押して、「ゲダン キノウ」と表示されていることを確認します。



2. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「5 インターフェース セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。



3. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「IF:ネットワーク セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。



4. 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「NW モニタ」を選択し、設定スイッチを押します。



5. 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「ムコウ」あるいは「ユウコウ」を選択し、設定スイッチを押します。



「ユウコウ」にした場合、電源をオフするまで各ランプが以下の機能に置き換わります。

単票ランプ：パケットを受信すると一定時間点滅します。

点検ランプ：ネットワークに接続すると点灯します。



本機能は電源をオフすると設定が消去され、必ず「ムコウ」に戻ります。

ネットワーク設定の初期化

本製品のネットワーク設定を初期化します。

1. 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、下段選択スイッチを押して、「ゲダン キノウ」と表示されていることを確認します。



2. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「5 インターフェース セッテイ」を選択し、設定スイッチを押します。



3. 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「IF:ショキカ」を選択し、設定スイッチを押します。



4. 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「ジッコウ」を選択（初期化を中止する場合は「トリヤメ」を選択）し、設定スイッチを押します。



初期化を実行すると、以下の画面に切り替わります。



5. 初期化が終了すると、3.の画面に戻ります。印刷スイッチを押し、「ショキカ」の設定を終了します。初期診断テストが実行されます。



「ショキカ」を実行すると、ネットワーク機能を含むインターフェースの設定が工場出荷値に戻りますので、それまでの設定が無効になります。本章「ネットワークの設定手順」および第5章「設定に関する機能」を参照して再設定を行ってください。

第2章 ユーティリティソフトウェアについて

本章では、ネットワークユーティリティソフトウェアについて説明します。

弊社ホームページ（<http://www.jbat.co.jp/>）のサポートページには、ネットワーク機能のための設定ツールおよび総合ユーティリティ、マニュアル、プリンター・ドライバーが掲載されています。Windows環境で使用することができます。



- UNIX/Linuxでは、ここで記載されているユーティリティソフトウェアは利用できません。
- Internet Explorer 5.0以降のブラウザ環境で使用可能です。

ユーティリティソフトウェアを使用する

Setup.exe を起動すると、メインメニューが表示されます。



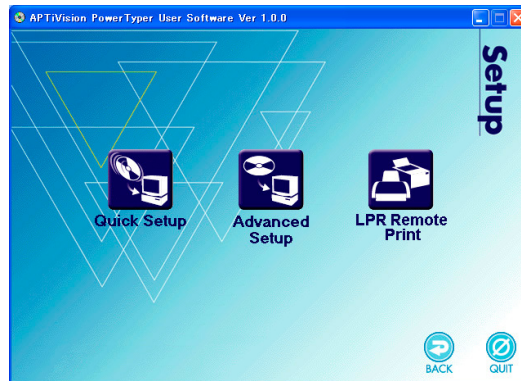
- お読みください
注意事項等が記載されています。必ずお読みください。
- セットアップ
本製品の設定ツール（Quick Setup、Advanced Setup）および統合クライアントソフトウェア（LPR Remote Print）のインストールを行います。
- マニュアル
PDF形式のマニュアル（取扱説明書）です。

セットアップについて

メニュー画面の「セットアップ」を選択すると、本製品の設定ツールを選択する画面が表示されます。目的に合ったツールを選択してください。



本製品の初期導入が完了している場合は、LPR Remote Printをパソコンにインストールするだけで、本製品を利用することができます。



- Quick Setup (初期導入時推奨)
本製品の初期導入がウィザード形式で簡単に行えます。また、初期導入に引き続いて印刷クライアントソフトウェアLPR Remote Printをインストールすることができます。本製品の初期導入を行う場合に推奨します。
- Advanced Setup
総合ユーティリティ「Print Manager」を起動またはインストールします。「Print Manager」は本製品の詳細設定と、本製品およびプリンターの管理を行うことができます。
- LPR Remote Print
Windowsから直接印刷するための印刷クライアントソフトウェアと「Network Monitor」をインストールします。LPR (本製品専用) またはIPP、Rawモードを選択することができます。

第3章 Windows環境で使用する

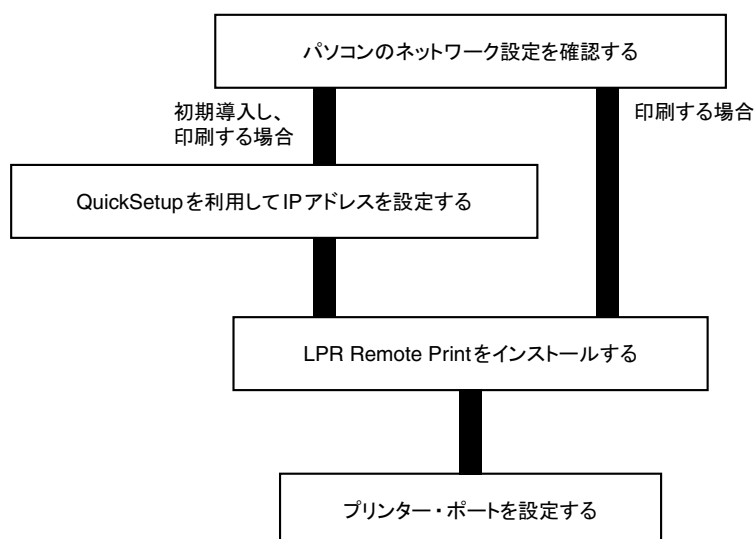
本章では、Windows環境で本製品を接続して、TCP/IP、NetBIOS over TCP/IPで印刷を行う方法について説明します。

Windows環境からTCP/IPで印刷する

TCP/IPプロトコルを利用して印刷する際の手順は以下の通りです。



- あらかじめパソコンにプリンター・ドライバーをインストールする必要があります。
- Windows標準の印刷クライアントで印刷を行う場合は、本章中の「OS標準の印刷クライアント機能で印刷する」を参照してください。



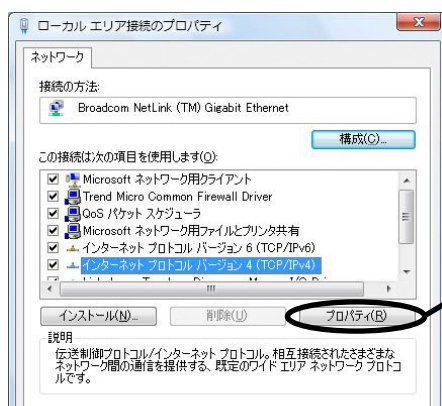
パソコンのネットワーク設定を確認する

[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] が追加されていることを確認します。



本項の画面例や設定例はWindows 7で表記しております
対応OSに関しては弊社ホームページ (<http://www.jbat.co.jp/>) でご確認ください

1. タスクバーのスタートボタンから、コントロールパネル「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」－「アダプターの設定変更」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] が追加されていることを確認します。



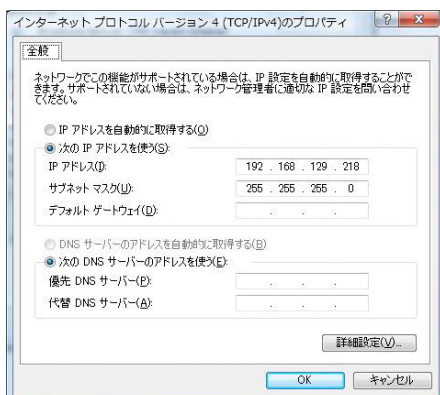
「プロパティ」をクリックしてください。



[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] が一覧にない場合は、以下の手順で追加します。

1. 「インストール」をクリックし、「ネットワーク機能の種類を選択」ダイアログボックスで「プロトコル」を選択します。
2. ネットワークプログラムの一覧から[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を選択します。

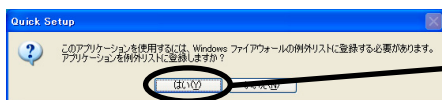
4. [全般]で、使用環境に合わせた設定が行われているか確認します。



TCP/IPプロトコルを使用する場合は、コントロールパネルの「システムとセキュリティ」→「Windowsファイアウォール」の「Windowsファイアウォールの有効化または無効化」をクリックし、一時的にWindowsファイアウォールの機能を「無効」にして設定を行ってください。

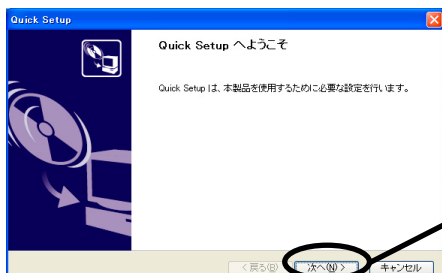
Quick Setupによる簡単設定

1. Quick.exeを実行すると、ファイアウォール例外リスト登録の確認メッセージが表示されます。



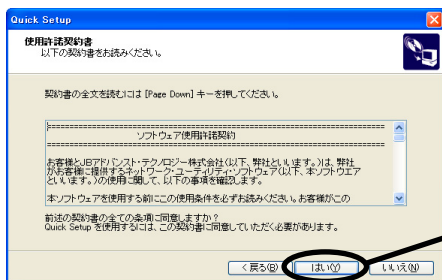
はい をクリックしてください。

2. Quick Setupが起動します。



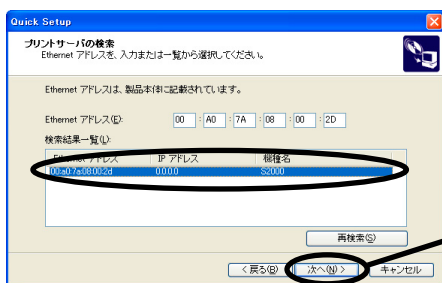
次へ をクリックしてください。

3. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

4. 本製品を選択します。

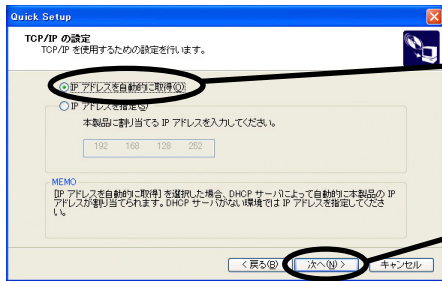


次へ をクリックしてください。



検索結果一覧に本製品が表示されていない場合は「再検索」をクリックしてください。
Ethernetアドレスを直接入力することで本製品を選択することもできます。

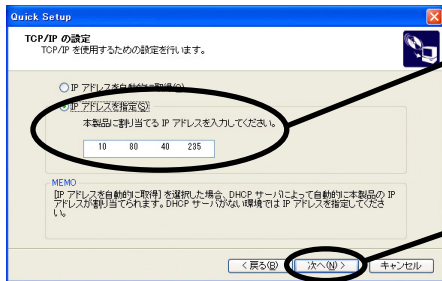
5. IPアドレスを設定します。
 〈DHCPサーバーがある場合〉
 (A) DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得



「IPアドレスを自動的に取得」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

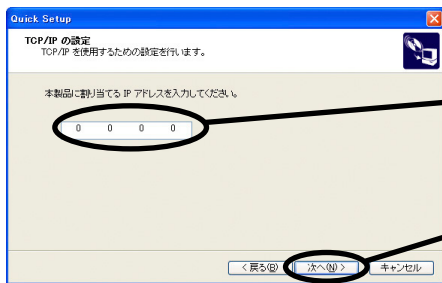
- (B) IPアドレスを手動で設定



任意のIPアドレスを設定することができます。

次へ をクリックしてください。

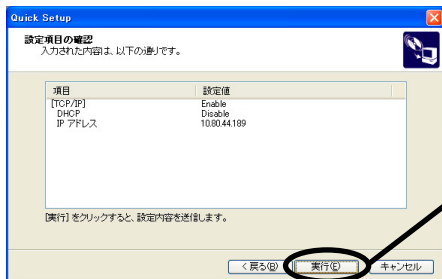
- 〈DHCPサーバーが無い場合〉



任意のIPアドレスを指定してください。

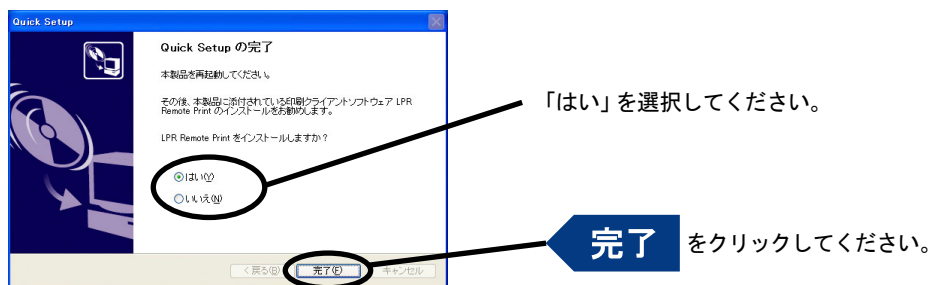
次へ をクリックしてください。

6. 設定項目を確認します。



実行 をクリックしてください。

7. 設定完了です。



- 引き続きLPR Remote Printをインストールしてください。LPR Remote PrintはWindowsから直接印刷を行うための印刷クライアントソフトウェアです。
- Windows環境で、OS標準の印刷機能を使用する場合は、本章中の「OS標準の印刷クライアント機能で印刷する」を参照してください。

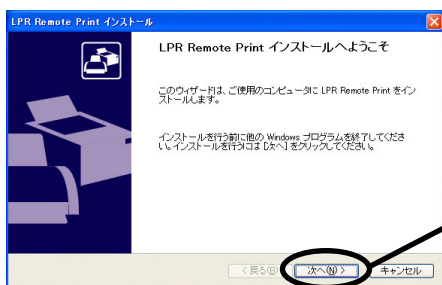
LPR Remote Printをインストールする

Windows環境で、本製品を利用してTCP/IPプロトコルで直接印刷を行うために、本製品に付属しているLPR Remote Printをご利用になることができます。LPR Remote Printは、LPR機能（本製品専用）、IPP機能及びRawモード機能をご利用いただける印刷クライアントソフトウェアと、Network Monitorが収録されています。インストールが完了すると、LPR Remote Print ポート追加ウィザードが起動します。



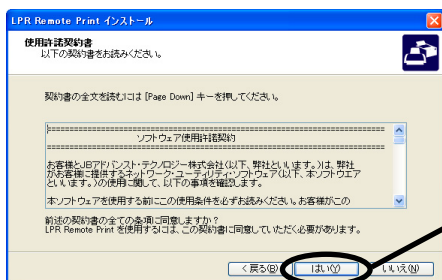
- LPR (Line Printer Remote) 機能
ローカルエリアネットワーク (LAN) 上のプリンターに印刷することができます。一般に広く使用されているプロトコルです。
- IPP (Internet Printing Protocol) 機能
インターネットを経由して遠隔地のネットワーク・プリンターに印刷することができます。
- Rawモード機能
ローカルエリアネットワーク (LAN) 上のプリンターに印刷することができます。印刷データのスプールを行わずに高速に印刷することができます。
- Network Monitor
プリンターの状態をパソコン画面にポップアップして表示する便利なモニターです。詳細は第6章「Network Monitor」を参照してください。

1. lpsetup.exeを実行すると、LPR Remote Printインストールウィザードが起動します。



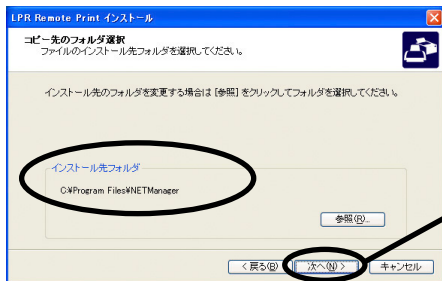
次へ をクリックしてください。

2. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

3. インストール先のフォルダーを指定します。

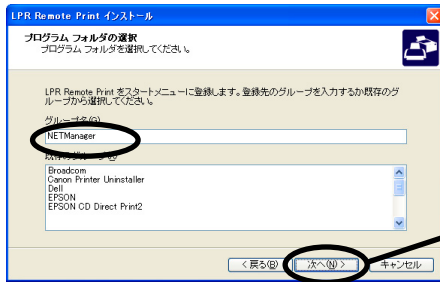


次へ をクリックしてください。



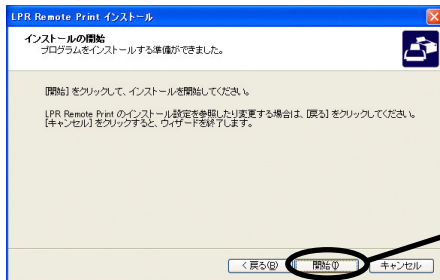
[参照] をクリックするとインストール先フォルダーを選択できます。

4. スタートメニューに表示されるグループ名を入力します。



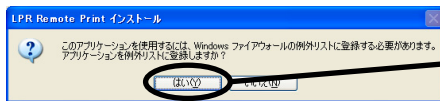
次へ をクリックしてください。

5. インストールを開始します。



開始 をクリックしてください。

6. インストール完了前に、ファイアウォール例外リスト登録の確認メッセージが表示されます。



はい をクリックしてください。

7. インストール完了です。



「はい」を選択してください。

完了 をクリックしてください。

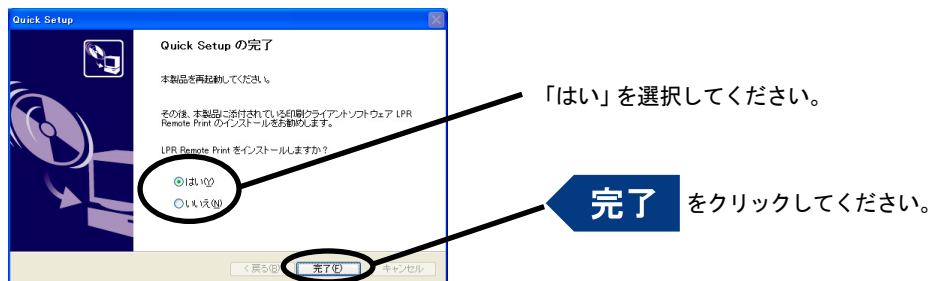
プリンター・ポートを追加する

本製品では、以下の3つの方法でLPR Remote Printポートを追加できます。

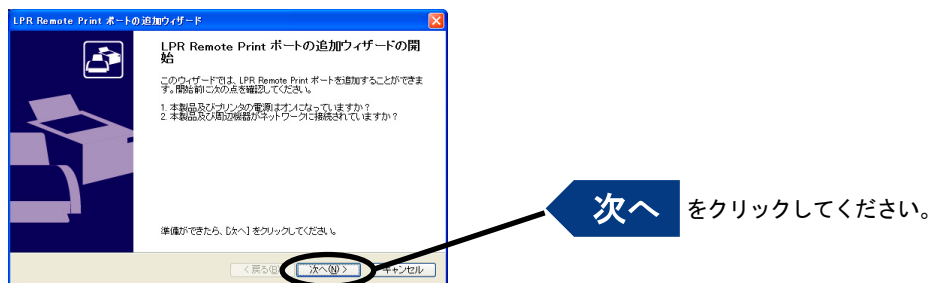
- LPRポートを追加する
- IPPポートを追加する
- Rawポートを追加する

印刷に使用するプロトコルを選択し、「次へ」をクリックすると、各印刷方式のポート作成画面へ移ります。

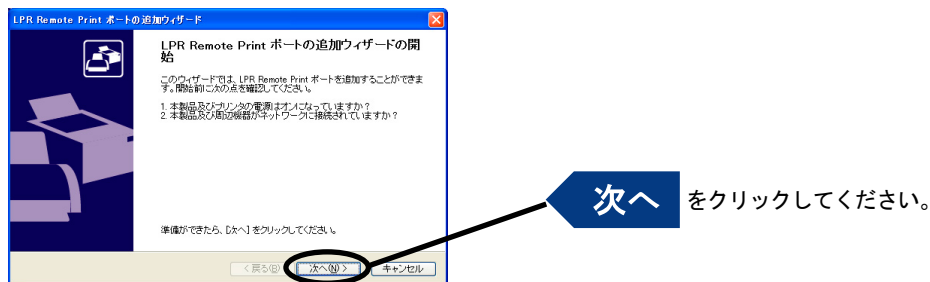
(A) LPR Remote Printインストールから続いて追加する



LPR Remote Print ポート追加ウィザードが開始します。

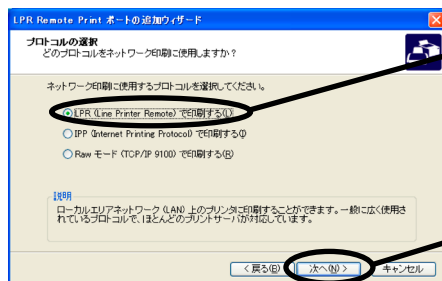


(B) 「スタート」－「プログラム (Windows XPの場合は「すべてのプログラム」)」－「NETManager」にある「LPR Remote Printポート追加」から追加する



LPRポートを追加する場合

1. LPR (Line Printer Remote) を選択します。

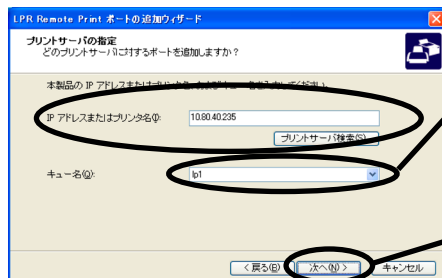


「LPR (Line Printer Remote) で印刷する」を選択します。

次へ をクリックしてください。

2. 「IPアドレスまたはプリンタ名」で本製品を選択します。

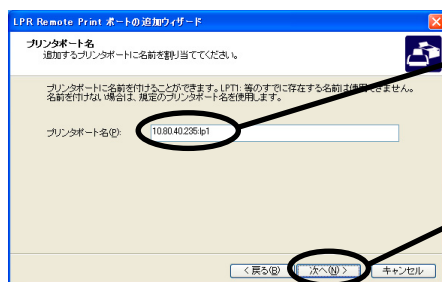
直接入力するか、「プリントサーバ検索」ボタンでプリント・サーバーの一覧を表示させて選択します。



プルダウンでキュー名 (lp1～lp6) を選択

次へ をクリックしてください。

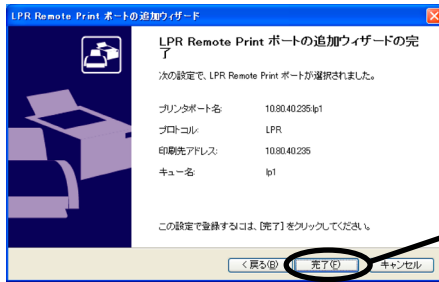
3. プリンター・ポート名を入力します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンター・ポート名をご使用ください。

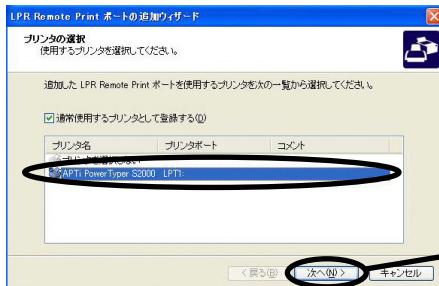
次へ をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



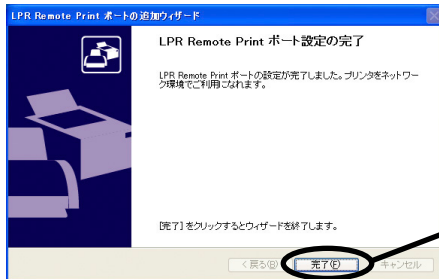
完了 をクリックしてください。

5. 使用するプリンターを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

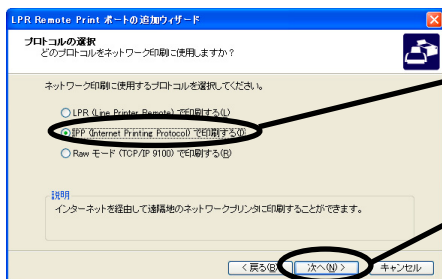
6. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

IPPポートを追加する場合

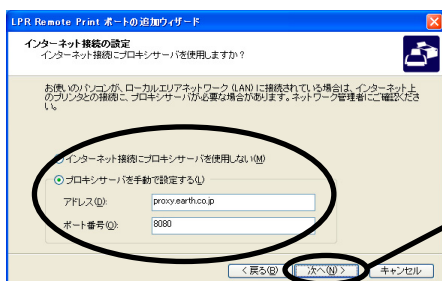
1. IPP (Internet Printing Protocol) を選択します。



「IPP(Internet Printing Protocol)で印刷する」を選択します。

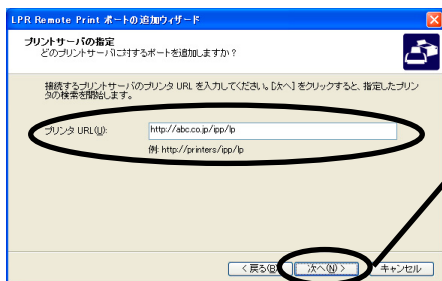
次へ をクリックしてください。

2. 「インターネット接続にプロキシサーバを使用しない」又は、「プロキシサーバを手動で設定する」を選択します。



次へ をクリックしてください。

3. 「プリンタURL」には、印刷先の本製品に割り当てられたURLを入力します。 本製品のIPPプリンターURLは、「/ipp」又は「/ipp/lp」です。



次へ をクリックしてください。

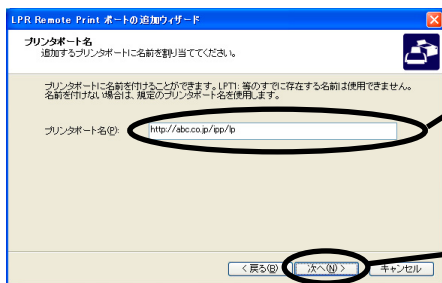
例) URLが「abc.co.jp」の場合
http://abc.co.jp/ipp/lp

例) IPアドレスが「192.168.20.185」の場合
http://192.168.20.185/ipp/lp



「次へ」をクリックすると、指定されたURLが存在するかどうかの確認が行われます。

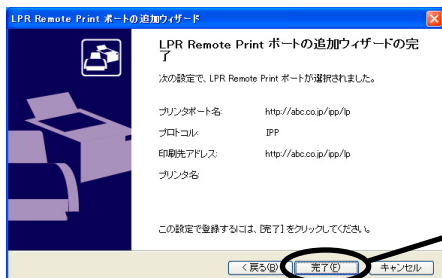
4. 印刷先のポート名を設定します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンター・ポート名を使用してください。

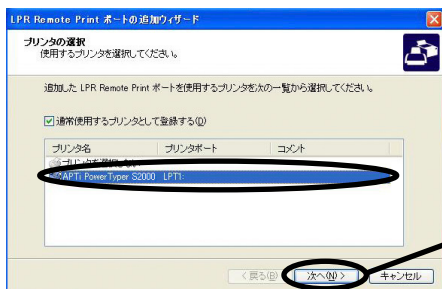
次へ をクリックしてください。

5. 設定内容を確認します。



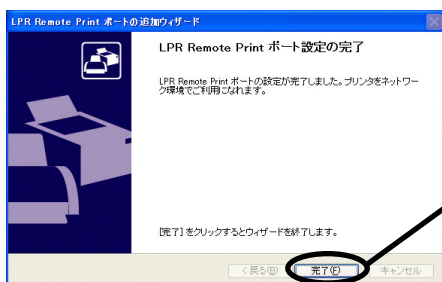
完了 をクリックしてください。

6. 使用するプリンターを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

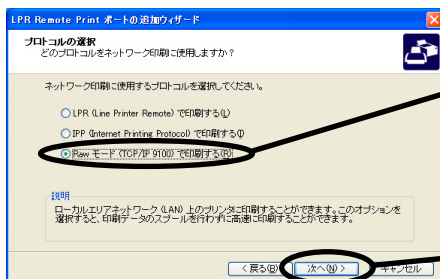
7. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

Rawポートを追加する場合

1. Rawモードを選択します。

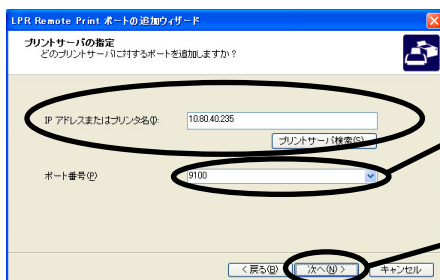


「Rawモード(TCP/IP 9100)で印刷する」を選択します。

次へ をクリックしてください。

2. 「IPアドレスまたはプリンタ名」で本製品を選択します。

直接入力するか、「プリントサーバ検索」ボタンでプリント・サーバーの一覧を表示させて選択します。



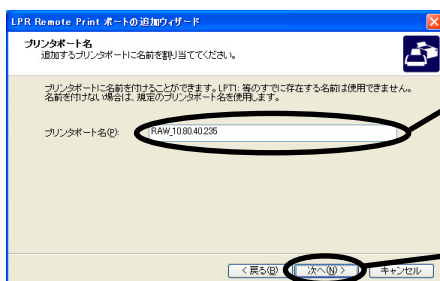
プルダウンでポート番号を選択

次へ をクリックしてください。



「次へ」をクリックすると、指定されたポート番号にアクセス可能か、確認されます。

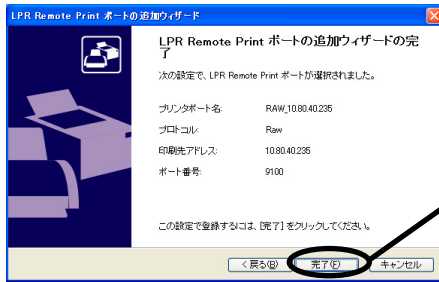
3. 印刷先ポート名を入力します。



特に問題がなければ既定のプリンター・ポート名(RAW_IPアドレス)を使用してください。

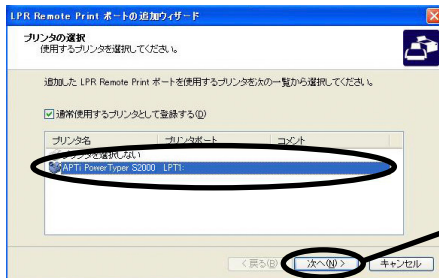
次へ をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



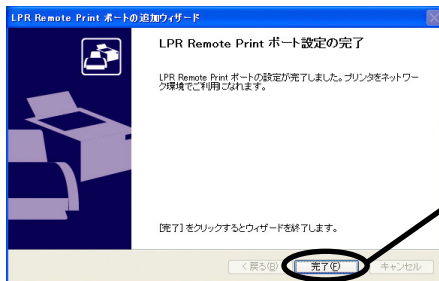
完了 をクリックしてください。

5. 使用するプリンターを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

6. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

NetBIOS over TCP/IPで印刷する

NetBIOS over TCP/IPのネットワーク設定を確認する

NetBIOS over TCP/IPを使って印刷するには、パソコンで各種プロトコルの設定を確認します。確認内容はOSにより異なりますので、下記を参照の上設定を確認してください。



本項の画面例や設定例はWindows 7で表記しております

対応OSに関しては弊社ホームページ（<http://www.jbat.co.jp/>）でご確認ください

ネットワーク設定で

- 「ネットワーク」に[インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]と[Microsoft ネットワーク用クライアント]が追加されていること
- [インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]にNetBIOS 設定が設定されていることを確認します。

1. コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」から「ネットワーク接続の管理」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [ユーザーアカウント情報]で「続行」を選択します。
4. [インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]と[Microsoftネットワーク用クライアント]が追加されていることを確認します。
5. [インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]-[プロパティ]-[詳細設定]からWINSタブを選択し、[NetBIOS over TCP/IPを有効にする]が選択されていることを確認します。

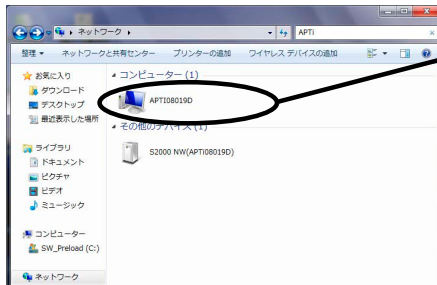
NetBIOS over TCP/IPで印刷する



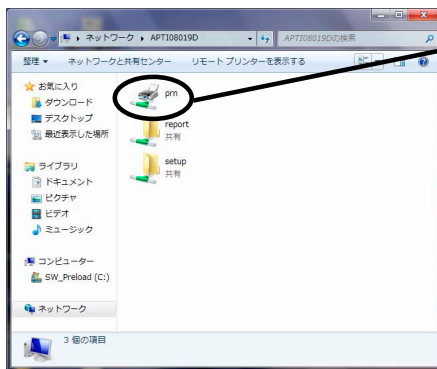
本項の画面例や設定例はWindows 7で表記しております

対応OSに関しては弊社ホームページ（<http://www.jbat.co.jp/>）でご確認ください

1. 「コンピューター」－「ネットワーク」を開きます。

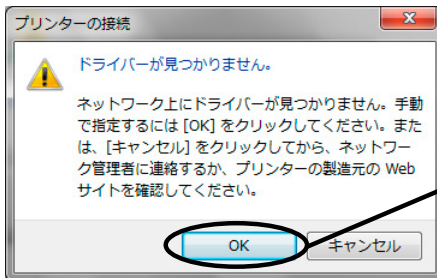


コンピューター（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。



プリンターのアイコンをダブルクリックしてください。

2. プリンターの設定確認メッセージが表示されます。



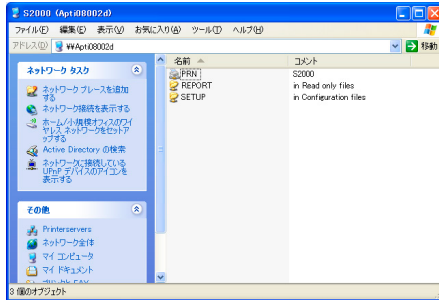
OK をクリックしてください。

3. プリンターの追加ウィザードが起動しますので、指示に従って設定を行います。 プリンターのテストページが出力されれば、プリンターの追加は完了です。

NetBIOS over TCP/IPワークグループの構造

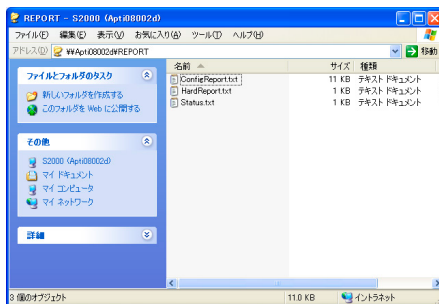
ここでは、本製品に搭載されているNetBIOS over TCP/IPのワークグループの構造について説明します。

例) 本製品のEthernetアドレス : 00:a0:7a:08:00:2d



¥¥AptI08002d : コンピューター

¥¥AptI08002d¥prn: プリンター



¥¥AptI08002d¥report¥ConfigReport.txt:

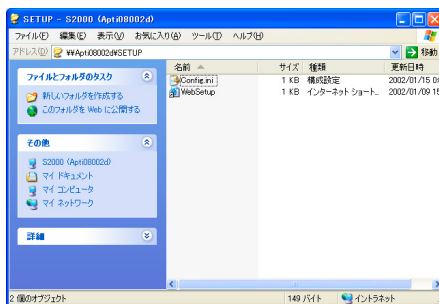
設定レポート (読み取り専用)

¥¥AptI08002d¥report¥HardReport.txt:

自己診断情報 (読み取り専用)

¥¥AptI08002d¥report¥Status.txt:

システム状態レポート (読み取り専用)



¥¥AptI08002d¥setup¥Config.ini:

初期設定ファイル (編集可能)

¥¥AptI08002d¥setup¥WebSetup:

ショートカットファイル (読み取り専用)

- 設定レポート
本製品を起動した時の内部情報を出力します。
- システム状態レポート
本製品を起動した時の本製品の状態を出力します。
- 初期設定ファイル
初期設定ファイルでは「ワークグループ名」と「IPアドレス」を記述することができます。
メモ帳等のエディターを使い編集後、ファイルを上書き保存することで設定します。上書き保存すると、本製品は約3秒後、自動リセットされ、再起動します。
初期設定ファイルを編集し、ファイルを上書き保存することでワークグループ名、IPアドレスの変更が可能です。

例)

Workgroup = UserGroup
IP Address = 10.80.40.235

ワークグループ名は、ネットワーク全体の中に既に存在するワークグループ名を指定してください。DHCP/BOOTP、RARPサーバーを使用してIPアドレスを自動的に割り当てする場合は、「IP address」に設定しても無効となります。

- ショートカットファイル
本製品にIPアドレスが設定されるとショートカット (WebSetup) が作成されます。ショートカットアイコンをダブルクリックするとWebブラウザが起動し本製品のWebページが表示されます。



本製品のWebページについては第5章「設定に関する機能」を参照してください。

OS標準の印刷クライアント機能で印刷する

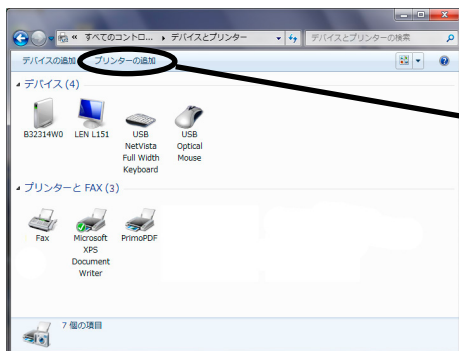
LPR Remote Printを使用せず、OS標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法を説明します。

Standard TCP/IPポートで印刷する



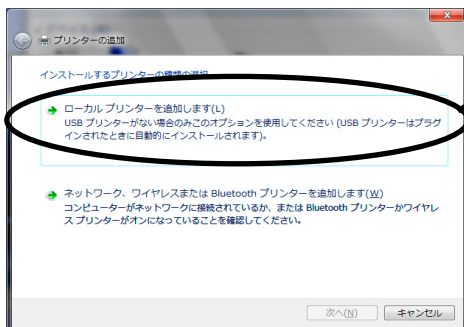
本項の画面例や設定例はWindows 7で表記しております
対応OSIに関しては弊社ホームページ（<http://www.jbat.co.jp/>）でご確認ください

1. コントロールパネルから「デバイスとプリンターの表示」を開きます。



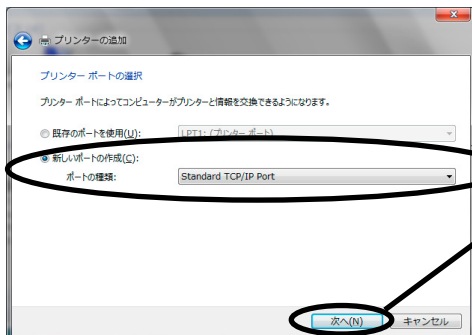
「プリンターの追加」ボタンをクリックしてください。

2. 設定するプリンターの種類を選択します。



「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

3. プリンター・ポートを選択します。



「新しいポートの作成」を選択し、種類は「Standard TCP/IP Port」を選択します。

次へ をクリックしてください。

4. プリンター・ポートを追加します。

プリンターの追加

ホスト名または IP アドレスを入力します

デバイスの種類(T): TCP/IP デバイス

ホスト名または IP アドレス(A): 10.80.44.189

ポート名(P): 10.80.44.189

プリンターを照会して、使用するプリンター・ポートを自動的に選択する(Q)

次へ(N) キャンセル

本製品に設定したIPアドレスを入力してください。

名前を付けない場合は、既定値 (xxx.xxx.xxx.xxx) をご使用ください。

次へ をクリックしてください。

5. デバイスの種類を決定します。

プリンターの追加

追加のポート情報が必要です

検出したデバイスの種類が不明です。以下の点を確認してください:
1. デバイスが正しく検出されている。
2. 前のページのアドレスが正確である。
前のウィザードのページに戻り、アドレスを確認してネットワークで別の検索を実行するが、アドレスが確実に正確な場合は、デバイスの種類を選択してください。

デバイスの種類

種類(S): Custom (Network Custom)

カスタム(C) 設定(L)

次へ(N) キャンセル

「カスタム」を選択し、「設定」をクリックしてください。

6. ポート情報を入力します。

(A) Rawモードで使用する場合

標準 TCP/IP ポート モニターの構成

ポートの設定

ポート名(P): 10.80.44.189

プリンター名または IP アドレス(A): 10.80.44.189

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q):

LPR バイト カウントを有効にする(B)

SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス インデックス(I): 1

OK キャンセル

「Raw」を選択してください。

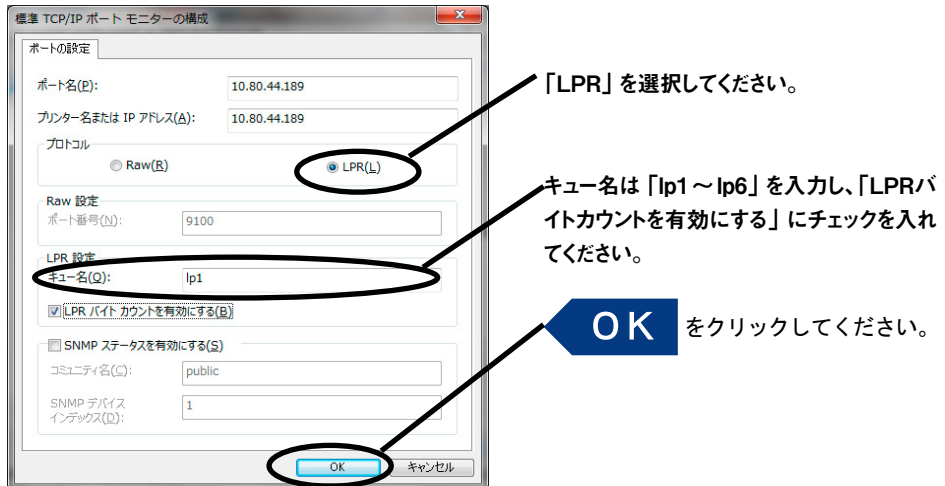
本装置に設定されているポート番号を入力してください (例: 9100)。

OK をクリックしてください。



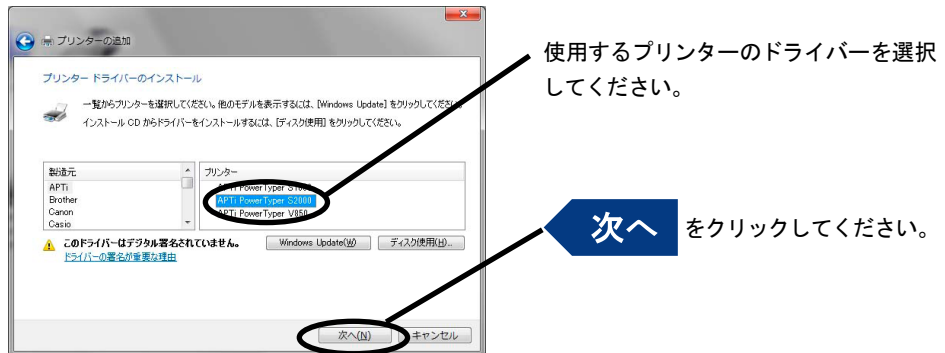
「OK」をクリックすると手順5.の画面に戻りますので、その画面で「次へ」をクリックしてください。

(B) LPRモードで使用する場合

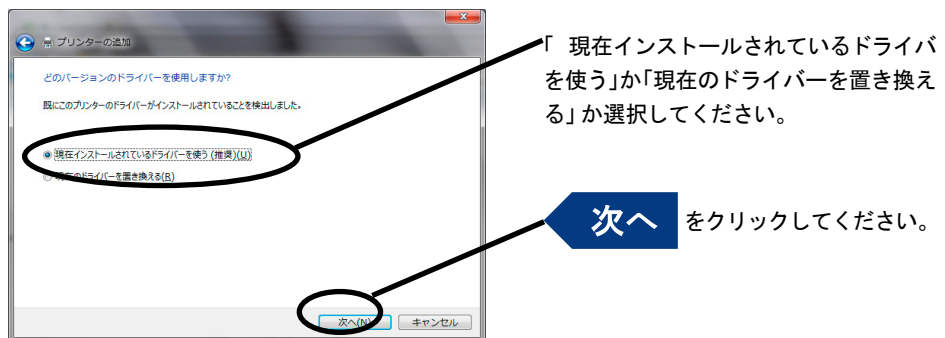


「OK」をクリックすると6.の画面に戻りますので、その画面で「次へ」をクリックしてください。

7. プリンター・ドライバーを選択します。

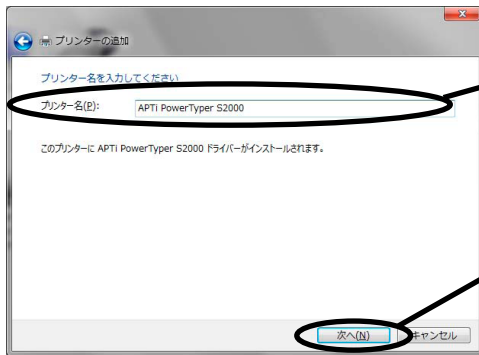


8. プリンター・ドライバーの導入方法を確認します。



「最新ドライバーを別途インストールした場合は、「現在のドライバーを置き換える」を選択してください。

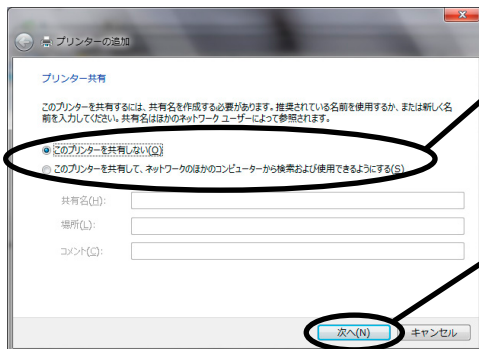
9. プリンター名を登録します。



プリンター名の登録を行います。

次へ をクリックしてください。

10. プリンターを共有するかを選択します。



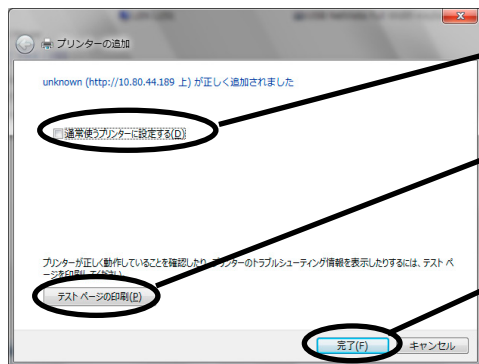
プリンターを共有するか共有しないかを選択してください。

次へ をクリックしてください。



同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンターを使用する場合は、「共有名」を指定して共有できるようにしてください。

11. 通常使うプリンターに設定するか選択します。



通常使うプリンターにする場合にチェックを入れてください。

テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」ボタンをクリックしてください。

完了 をクリックして、設定を完了します。

LPRポートで印刷する



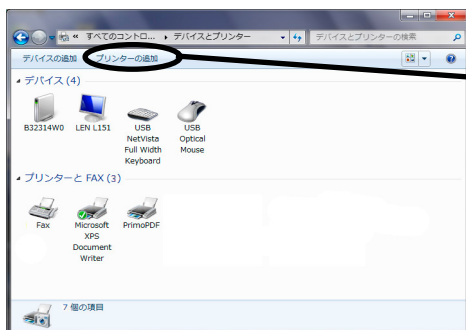
以下の説明は、Windows 7の画面を使用しています。その他のバージョンのOSをご利用の場合、画面が異なります。

LPRポートの追加

1. コントロールパネルから「プログラム」－「プログラムと機能」－「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。
2. 「印刷サービス」の中の「LPRポートモニタ」をチェックし、OKボタンをクリックします。コンポーネントの追加が終了するとウィザードが自動的に閉じます。

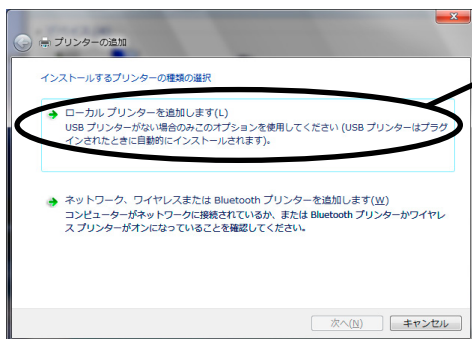
LPRポートで印刷する

1. コントロールパネルから「デバイスとプリンターの表示」を開きます。



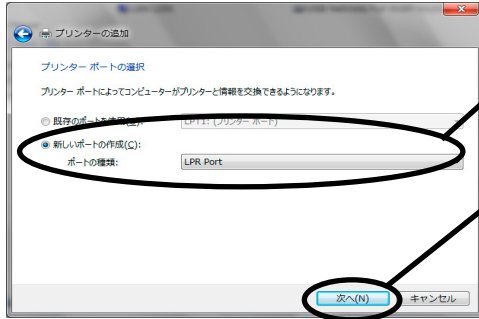
「プリンターの追加」ボタンをクリックしてください。

2. 設定するプリンターの種類を選択します。



「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

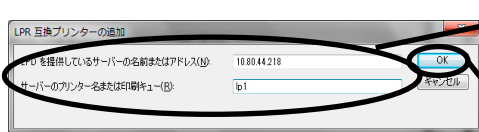
3. プリンター・ポートを選択します。



「新しいポートの作成」を選択し、種類は「LPR Port」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

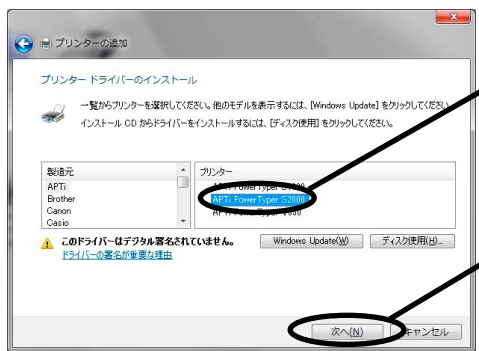
4. LPR互換プリンターを追加します。



本製品に設定したIPアドレスと「lp1～lp6」を入力してください。

OK をクリックしてください。

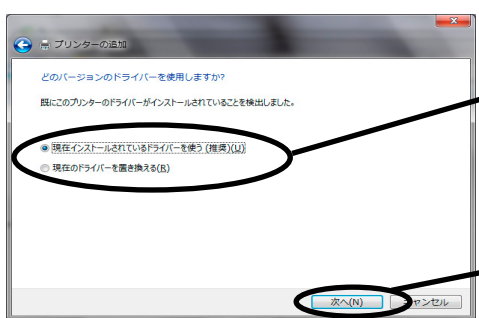
5. プリンターのドライバーを選択します。



使用するプリンターのドライバーを選択してください。

次へ をクリックしてください。

6. プリンター・ドライバーの導入方法を確認します。



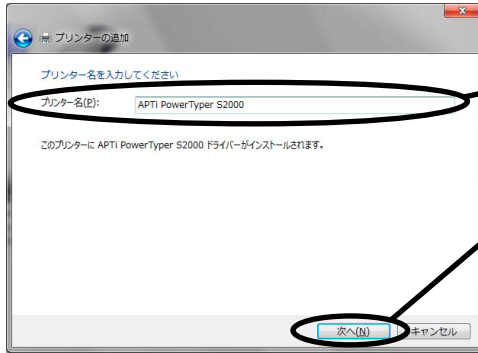
「現在のドライバを使う」か、「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



最新ドライバーを別途インストールした場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

7. プリンター名を登録します。



プリンター名を入力してください。

次へ をクリックしてください。

8. プリンターを共有するかを選択します。



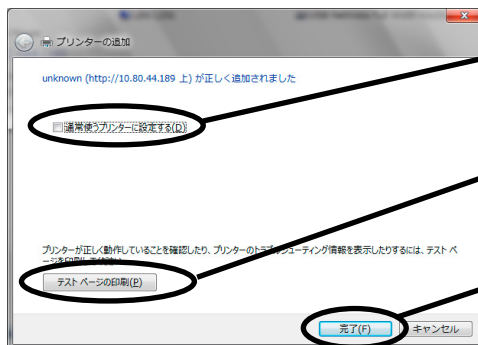
プリンターを共有するか共有しないかを選択してください。

次へ をクリックしてください。



同じネットワーク内にある他のコンピューターからもこのプリンターを使用する場合は、「共有名」を指定して共有できるようにしてください。

9. 通常使うプリンターに設定するか選択します。



通常使うプリンターにする場合にチェックを入れてください。

テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」ボタンをクリックしてください。

完了 をクリックして、設定を完了します。

IPPポートで印刷する



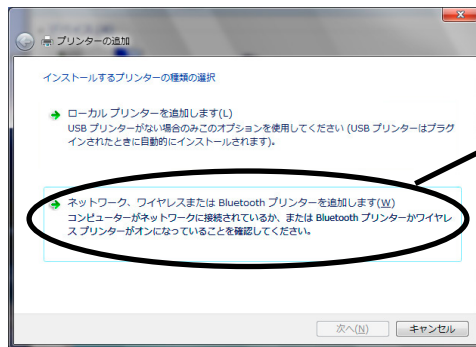
本項の設定例はWindows 7を例としております。その他のバージョンのOSをご利用の場合、画面が異なります。

1. コントロールパネルから「デバイスとプリンターの表示」を開きます。



「プリンターの追加」ボタンをクリックしてください。

2. 設定するプリンターの種類を選択します。

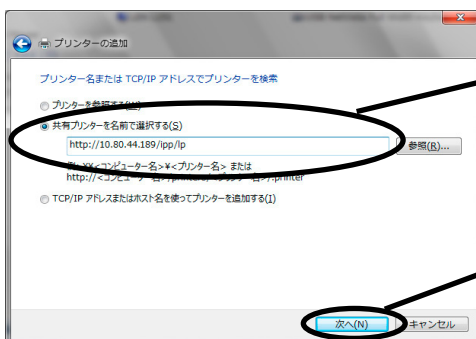


「ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します」を選択してください。



使用するプリンターが検索できれば、それを選択して4.に進みます。検索できない場合は、「探しているプリンタはこの一覧にはありません」を選択してください。

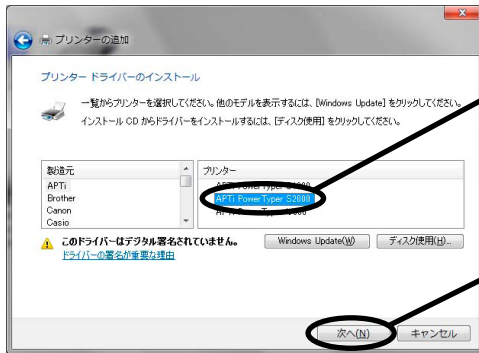
3. 本製品のアドレスを入力します。



「共有プリンターを名前で作成する」を選択し、本製品のホスト名を指定してください。

次へ をクリックしてください。

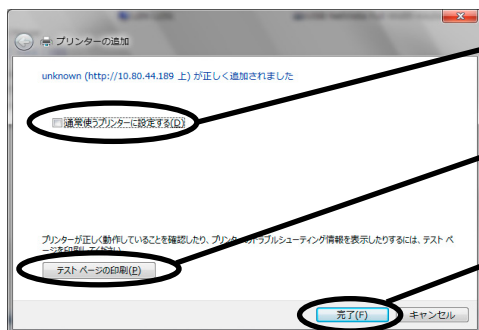
4. プリンター・ドライバーを選択します。



使用するプリンターのドライバーを選択してください。

次へ をクリックしてください。

5. 通常使うプリンターとするか選択します。



通常使うプリンターにする場合にチェックを入れてください。

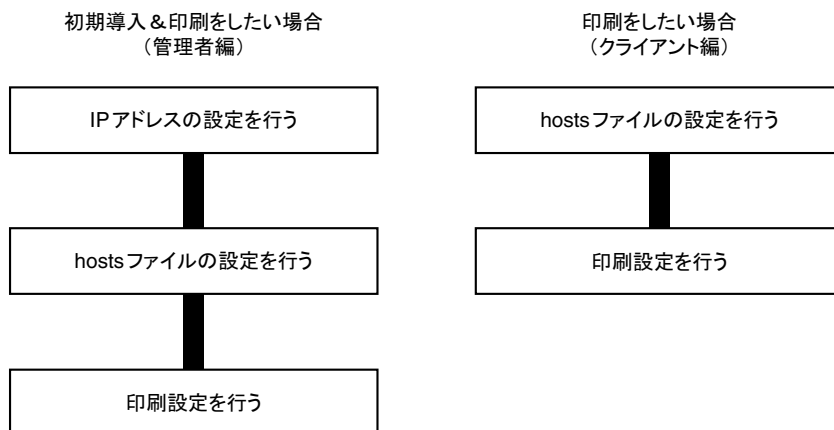
テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」ボタンをクリックしてください。

完了 をクリックしてください。

第4章 UNIX/Linux環境で使用する

本章では、UNIX/Linux環境で使用するために必要な設定と、LPDおよびFTPによる印刷について説明します。設定方法は一例ですので、詳細はご使用のワークステーションのマニュアルを参照してください。

UNIX/Linux環境で印刷するまでの手順



IPアドレスの設定



IPアドレスを設定した後は、TELNETで本製品の詳細設定を行ってください。
TELNETについては、第5章「設定に関する機能」を参照してください。

BOOTPによる設定

本製品に登録するIPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをBOOTPサーバーに登録・起動し、プリンターの電源を再投入することでIPアドレスを設定することができます。



BOOTPによるIPアドレスとEthernetアドレスの設定を行うためには、ネットワーク内にBOOTPサーバーが動作しているワークステーションが必要です。

UNIXのBOOTPサーバーを使用したIPアドレスの設定例です。

例) Ethernetアドレスが「00a07a08002d」、IPアドレスが「10.80.40.235」、ホスト名が「pbox」の場合

1. /etc/bootptabに次の設定を追加します。

```
pbox:¥
ht=ether:¥           # Target hardware type is ETHERNET
ha=00a07a08002d:¥   # Target hardware address
ip=10. 80. 40. 235:¥ # Target IP address
gw=10. 80. 40. 235:¥ # Default gateway address (If required)
sm=255. 255. 255. 0: # Target subnet mask (If required)
```

2. /etc/inetd.conf に次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/bootpd bootpd
```

3. inetdを再起動します。

```
kill -l 1
```

4. プリンターの電源を再投入します。

RARPによる設定

UNIXの/etc/ethersに本製品に登録するIPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせを追加し、RARPDを起動します。その後、プリンターの電源を再投入することでIPアドレスを設定することができます。



RARPによるIPアドレスの設定を行うためには、ネットワーク内にRARPデーモンが動作しているワークステーションが必要です。

重要

UNIXのRARPサーバーを使用したIPアドレスの設定例です。

例) Ethernetアドレスが「00a07a08002d」、IPアドレスが「10.80.40.235」、ホスト名が「pbox」の場合

1. /etc/ethersに次の設定を追加します。
`00:a0:7a:08:00:2d 10.80.40.235 #pbox`
2. RARPDを起動します。
`rarpd -a`
3. プリンターの電源を再投入します。

ARPによる設定

IPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをARPテーブルに登録し、PINGを実行することで、IPアドレスを設定することができます。



この方法により設定されたIPアドレスは一時的な設定であり、本製品に登録されません。設定後は必ずTELNETなどでIPアドレスの登録を行ってください。

例) Ethernetアドレスが「00a07a08002d」、IPアドレスが「10.80.40.235」、ホスト名が「pbox」の場合

1. 本製品の電源を投入します。
2. ARPコマンドを使い、IPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをARPテーブルに登録します。

```
arp -s 10.80.40.235 00:a0:7a:08:00:2d temp
```
3. PINGを実行します。

```
ping 10.80.40.235
```
4. 実行後、本製品より応答があれば設定完了です。

```
10.80.40.235 is alive.
```

hostsファイルの設定

UNIXまたはLinuxマシンのhostsファイルにホスト名とIPアドレスを登録します。



- hostsファイルを編集する場合は、ネットワーク管理者に確認の上作業してください。
- DNS等のIP管理システムをご利用の場合は、hostsファイルの編集を行う必要がない場合があります。

1. UNIX/Linuxマシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

2. /etc/hostsファイルに本製品のホスト名とIPアドレスを登録します。

hostsファイルの編集には“vi”などのエディタを使用します。

例) IPアドレスが「10.80.40.235」、ホスト名が「pbox」の場合

```
10.80.40.233  venus  # UNIX-A
10.80.40.234  mars   # UNIX-B
10.80.40.235  pbox   # Print-Server
```

3. プリンターの電源をONにし、「ping」コマンドを使用して、ネットワークとの接続が行えるかを確認します。

```
# ping pbox
```



応答がない場合やエラーが表示される場合は、本製品のIPアドレスの設定、hostsファイルの記述またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者に確認してください。

LPDを使用した印刷

TCP/IPのLPDプロトコルを使用して印刷するための設定方法を説明します。

「lpr」、「lp」コマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルを参照してください。



- LPDプロトコルについて
LPD (Line Printer Daemon) プロトコルは、ネットワーク上のプリンターに印刷するためのプロトコルです。
- 論理プリンターについて
本製品にはlp1～lp6の6つの論理プリンターがあります。

AIX 4.x.x環境で使用する

AIXから印刷するための設定を行います。

OSのバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルを参照してください。

1. プリントキューを作成します。

1-1. UNIXマシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. プリント・サーバーを追加します。

例) 「pbox」という名前のホスト名を追加する場合

```
# ruser -a -p pbox
```

1-3. リモートプリンターデーモンを起動します。

```
# startsrc -s lpd
```

```
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

1-4. smitコマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

1-4-1. smitコマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します。

```
# smit mkrque
```

1-4-2. 「接続タイプ」から「remote」（リモートホストに接続されたプリンター）を選択します。

1-4-3. 「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。

1-4-4. 「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します。
(下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください。)

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合
リモート・サーバー追加する待ち行列 [pboxlp]
リモート・サーバーのホスト名 [pbox]
リモート・サーバーの待ち行列名 [lp1～lp6]
リモート・サーバー上の印刷スプーラのタイプ [BSD]
リモート・サーバー上のプリンター名記述 [任意のコメント]



リモート・サーバー上の待ち行列名の「lp1～lp6」は、本製品の論理プリンター名になります。

2. 印刷を行います。

「lp」コマンドを使用して印刷します。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

「cancel」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp -<ジョブ番号>
```

4. プリンターの状態を確認します。

「lpstat」コマンドを使用して、プリンターの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```



UNIXの仕様により、正常に表示できない場合があります。

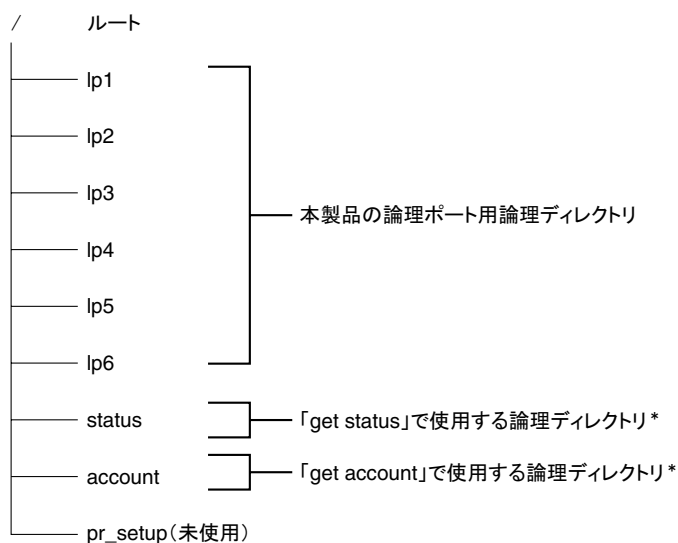
FTPを使用した印刷

TCP/IPのFTPプロトコルを使用して印刷する方法を説明します。「ftp」コマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルを参照してください。



- FTPプロトコルについて
FTP (File Transfer Protocol) プロトコルは、TCP/IPでファイルを転送するためのプロトコルです。本製品の論理ディレクトリに対して、印刷データを転送することで印刷を行います。
- 論理ディレクトリについて
本製品には、8つの論理ディレクトリがあり、「cd」コマンドにて移動する必要があります。

〈本製品の論理ディレクトリ構成〉



* 付録F「管理情報を確認する」を参照。

印刷する

1. 本製品へログインします。



「ftp」コマンドで印刷する場合、「User」と「Password」は、どのような入力をして印刷可能です。ただし、ユーザ名が「root」の場合は、環境設定で設定した「パスワード」が必要となります。

例) ホスト名「pbox」のプリンターにログインする場合
(または、IPアドレス「192.168.10.100」のプリンターにログインする場合)

```
#ftp pbox (または、ftp 192.168.10.100 )
Connected to pbox
220 ***** NW Ver *.*.* FTP Server.
Name(pbox:root): root
331 Password required.
Password:
230 User Logged in.
ftp>
```

2. 「cd」コマンドで、転送先ディレクトリへ移動します。



本製品は、転送先ディレクトリが階層構造となっています。また、ルートディレクトリへの印刷データの出力は「lp1」への出力として処理されます。

例) lpディレクトリへ移動し、現在のディレクトリを確認する場合

```
ftp>cd /lp1
250 Command Ok.
ftp>pwd
257 "/lp1" is current directory.
ftp>
```

3. 転送モードを変更します。



転送モードには、LFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」とファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」の2種類があります。プリンター・ドライバーで変換されたバイナリファイルを転送する場合は、転送モードを「BINARYモード」に設定します（指定しない場合は「ASCIIモード」で出力されます）。

例) 転送モードをBINARYモードに変更し、現在のモードを確認する場合

```
ftp>type binary
200 Type set to I.
ftp>type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

4. 「put」コマンドを用いて、印刷データを本製品へファイル転送します。 「put」コマンドによるファイル転送には、2種類の形式があります。

例) 印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp>put test.prn
```

印刷データをディレクトリ指定「/users/test/test.prn」で指定して転送する場合

```
ftp>put /users/test/test.prn /lp1
```



印刷データをディレクトリ指定で印刷する場合は、転送先論理ディレクトリを指定します。
cdコマンドでディレクトリを移動する必要はありません。

5. 「quit」コマンドでログアウトします。

```
ftp>quit
```

状態を確認する

「quote」コマンドの「stat」を使って、IPアドレス、ログインユーザー名、転送モードの3つの状態を確認することができます。

また、「stat」の後にディレクトリ (lp1～lp6) を指定すると、プリンターの状態を確認することができます。

例) イーサネットボードの状態表示

```
ftp>quote stat
211-FTP server status:
Connected to:0,0,0,0,XX,XX
User logged in:guest
Transfer type:BINARY
Data connection:Closed.
211 End of status.
ftp>
(XX,XXは任意の数値)
```

プリンター(ディレクトリ名:lp1)の状態表示

```
ftp>quote stat /lp1
211-FTP directory status:
ON Line
211 End of status.
ftp>
```

第5章 設定に関する機能

本章ではPrint Manager、Webブラウザ、TELNETを利用して、詳細な設定を行う方法について説明します。

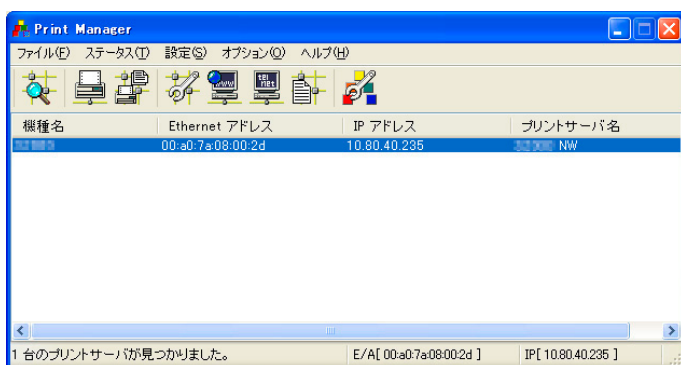
Print Managerで設定する

総合ユーティリティ「Print Manager」は、本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やプリンター・ステータス・モニターなどの便利な機能を使用することができます。



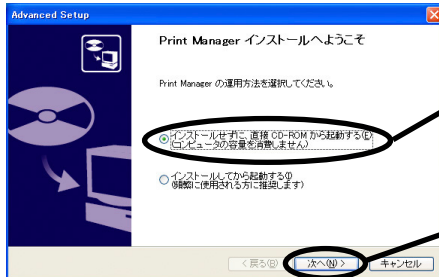
重要

- Print Managerを使用する場合、パソコンにTCP/IPプロトコルまたはIPX/SPXプロトコルがインストールされている必要があります。
- 使用環境および機種によっては、「Print Manager」に表示される内容が異なります。
- Windows環境でTCP/IPプロトコルを使用する場合は、コントロールパネルから「システムとセキュリティ」(Windows Vistaの場合は「セキュリティ」)→「Windowsファイアウォール」の「Windowsファイアウォールの有効化または無効化」をクリックし、Windowsファイアウォールの機能を無効にしてください。



Print Managerを起動する

1. Adsetup.exeを実行すると、インストール確認画面が表示されます。



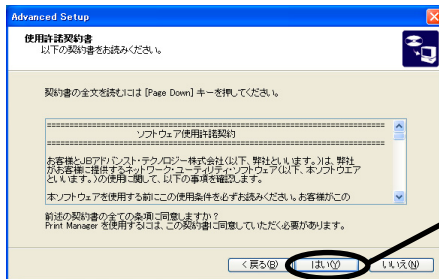
「インストールせずに、直接CD-ROMから起動する」を選択してください。

次へ をクリックしてください。



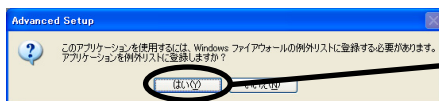
Print Managerを頻繁に使用する場合は、「インストールしてから起動する」を選択して、パソコンにインストールすることをお奨めします。

2. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



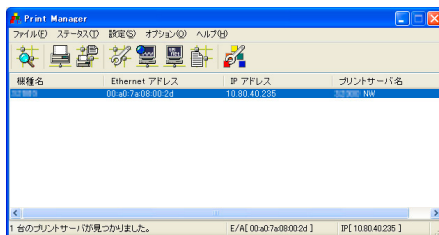
はい をクリックしてください。

3. ファイアウォール例外リスト登録の確認メッセージが表示されます。



はい をクリックしてください。

4. Print Managerが起動します。



Print Managerで本製品を検索する

本製品の設定を行う前に、Print Managerで本製品が検索されることを確認してください。本製品が検索されない場合は、「設定」－「IPアドレス設定」でIPアドレスの設定を行ってください。

IPアドレス設定

IPアドレスの設定を手動で行います。



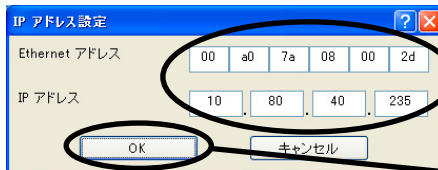
本設定を行う前に、本製品のEthernetアドレスを確認してください。Ethernetアドレスは、NW初期値印刷に記載されています。(例: 00:a0:7a:08:00:2d)

1.



Print Managerのメニューバーから「設定」－「IPアドレス設定」を選択してIPアドレス設定ツールを起動してください。

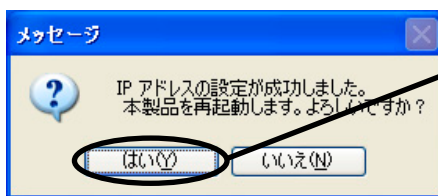
2.



設定する製品のEthernetアドレスとIPアドレスを入力してください。

OK をクリックしてください。

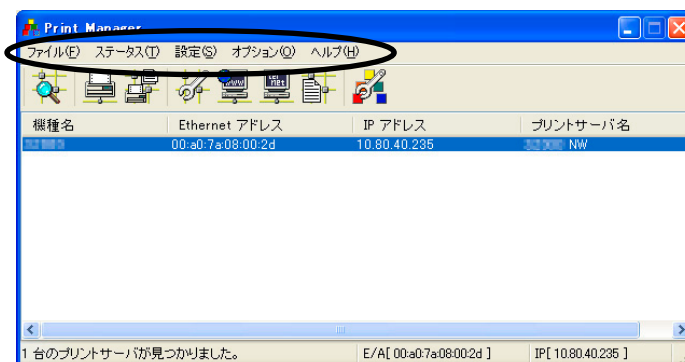
3.



設定したIPアドレスを有効にするために本製品をリセットします。「はい」をクリックしてください。

Print Managerの機能

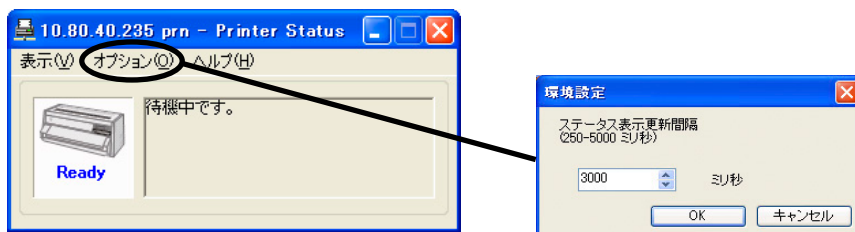
Print Managerメニュー構成



メニュー	項目	説明
ファイル	検索	ネットワーク上の本製品を検索
	終了	Printer Managerを終了
ステータス	プリンタステータス	プリンター・ステータス・モニターを表示
	システムステータス	システム・ステータス・モニターを表示
	設定項目一覧表示	本製品の内部設定情報を表示
設定	プリントサーバの設定	本製品の各種設定
	Webブラウザによる設定	本製品のホームページを起動
	TELNETによる設定	TELNETを起動
	再起動	本製品の再起動
	IPアドレス設定	IPアドレスの手動設定
オプション	環境設定	Print Managerの環境設定
ヘルプ	バージョン情報	Print Managerのバージョンを表示

プリンター・ステータス

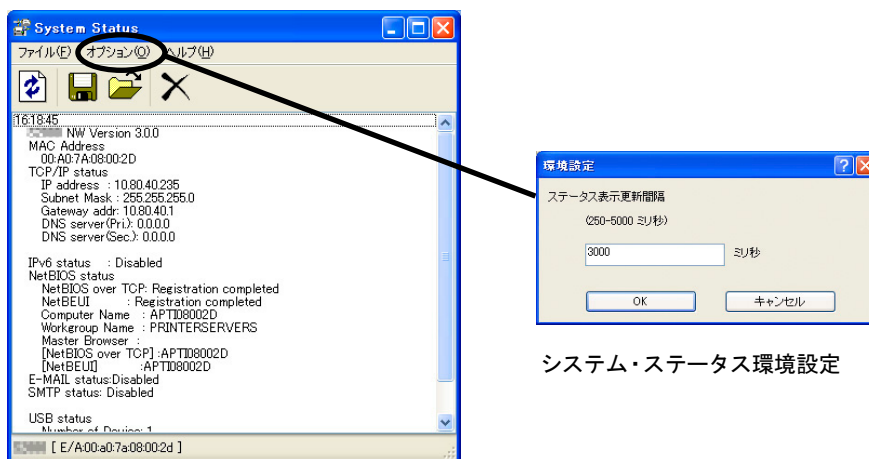
Print Manager画面にて選択した本製品が接続しているプリンターの状態が、リアルタイムに表示されます。また、環境設定画面にて、プリンター・ステータスの更新時間を指定することができます。



プリンター・ステータス環境設定

システム・ステータス

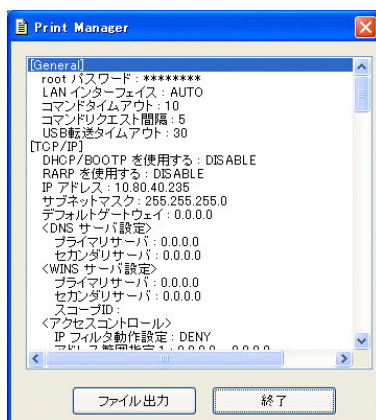
Print Manager画面にて選択した本製品の動作状態がリアルタイムに表示されます。本製品の動作状態をファイルに保存(ログの登録)し、参照することができます。また、環境設定画面にて、システム・ステータスの更新時間を指定することができます。



システム・ステータス環境設定

設定項目一覧表示

本製品に設定した各項目の設定値が一覧で表示されます。設定内容をファイル出力し、管理することができます。

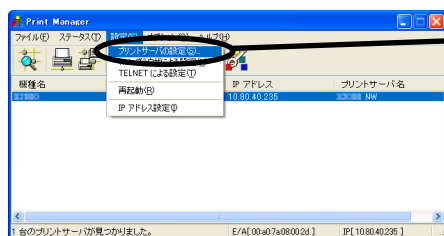


Print Managerで本製品の設定を行う

プリント・サーバーの設定

Print Managerの「設定」－「プリントサーバの設定」で本製品の詳細設定および設定内容の変更を行います。

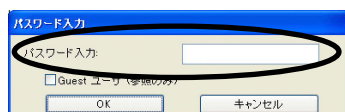
1.



設定を行う本製品を指定し、Print Managerのメニューバーから「設定」－「プリントサーバの設定」を選択してください。

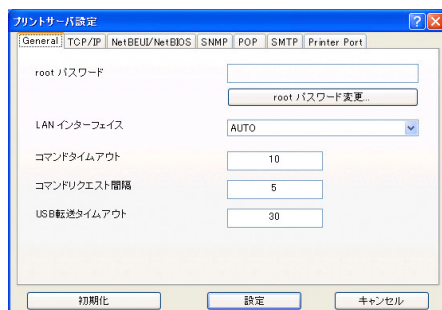


- 本製品にパスワードが設定されている場合は、「パスワード入力」画面が表示されます。
- 「Guestユーザ」チェックボックスをチェックした場合は設定情報を確認することはできませんが、設定内容の変更は行えません。



パスワード入力画面

2.

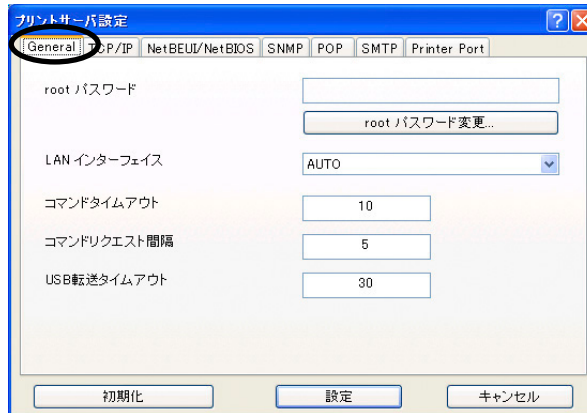


左の画面が表示されます。設定を行うタブを選択します。



- 本製品の機種によっては表示されるタブが異なります。
- タブが全て表示されていない場合は、スクロールボタンで表示させてください。

Generalの設定



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
General	rootパスワード	本製品の管理パスワードをASCII文字列(7文字以内)で設定します。 このパスワードはPrint Manager、TELNET、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
	rootパスワード変更	パスワードの変更を行います。	—
	LANインターフェイス	物理ネットワークの種別を設定します。通常はAUTOで使用してください。 本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
	コマンドタイムアウト	プリンターとの通信のタイムアウト値を秒単位で設定します(設定値: 1~30)。	10
	コマンドリクエスト間隔	プリンターに対してMIBObjectを取得する間隔の初期値を秒単位で設定します(設定値: 1~30)。	5
	USB転送タイムアウト	USBでのデータ転送のタイムアウト値を秒単位で設定します(設定値: 1~180)。	30

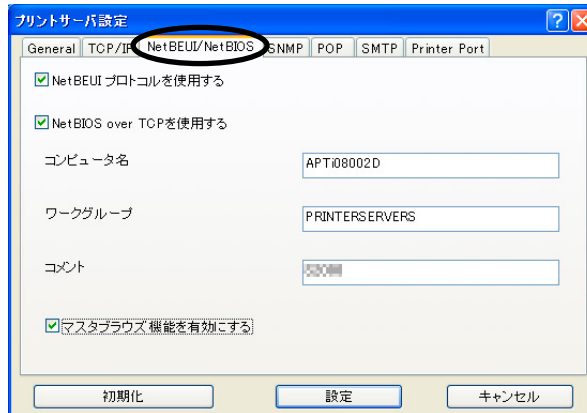
TCP/IPの設定



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
TCP/IP	DHCP/BOOTPを使用する	DHCP/BOOTPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。DHCPとBOOTPを自動認識し、先に応答のあったIPアドレスを自分のアドレスとして採用します。	DISABLE
	RARPを使用する	RARPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。	DISABLE
	IPアドレス	本製品のIPアドレスを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	サブネットマスク	本製品のサブネット・マスクを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IPアドレスに応じたサブネット・マスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルト・ゲートウェイを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。	0.0.0.0
DNSサーバ	プライマリサーバ	DNSサーバー (プライマリ) のアドレスを設定します。POP/SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	セカンダリサーバ	DNSサーバー (セカンダリ) のアドレスを設定します。POP/SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0

タブ	項目	設定内容	工場出荷設定	
TCP/IP	WINSサーバー	プライマリサーバ	WINSサーバー(プライマリ)のアドレスを設定します。WINSサーバーはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
		セカンダリサーバ	WINSサーバー(セカンダリ)のアドレスを設定します。WINSサーバーはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
		スコープID	スコープIDは登録されたホスト名を認識するコンピュータのグループを定義します。	なし
	高度な設定	IPv6機能を使用する	IPv6使用有無を指定します。	DISABLE
		NetworkPnPを使用する	UPNP機能の使用有無を指定します。	ENABLE
	アクセスコントロール	IPフィルタ動作設定	IPフィルターの動作を設定します。設定には「ALLOW」と「DENY」があり、「ALLOW」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「DENY」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
		アドレス範囲指定	IPフィルターの範囲を設定します。フィルターするIPアドレスの範囲は4組まで設定できます。設定が不要な場合はアドレス範囲を「0.0.0.0」から「0.0.0.0」にしてください。	0.0.0.0

NetBEUI/NetBIOSの設定



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
NetBEUI/ NetBIOS	NetBEUI プロトコルを使用する	NetBEUIプロトコルを有効 (ENABLE) にします。	ENABLE
	NetBIOS over TCPを使用する	NetBIOS over TCPプロトコルを有効(ENABLE)にします。	ENABLE
	コンピュータ名	Windowsのexplorerに表示されるコンピュータ名を設定します。	APTixxxxxx (Ethernet アドレス下6桁)
	ワークグループ	本製品が所属するワークグループを設定します。 ネットワークに無い、新しいワークグループ名はワークグループとして認識されません。	PRINTERSERVERS
	コメント	本製品のコメント (説明) を設定します。 ここで設定した情報が、Windowsのexplorerにて本製品のコメント (説明) として表示されます。	(製品名)
	マスタブラウザ機能を有効にする	マスタブラウザ機能を有効 (ENABLE) にします。	ENABLE



コンピュータ名およびワークグループ名には以下の文字が使用できます。それ以外の文字は使用できません。

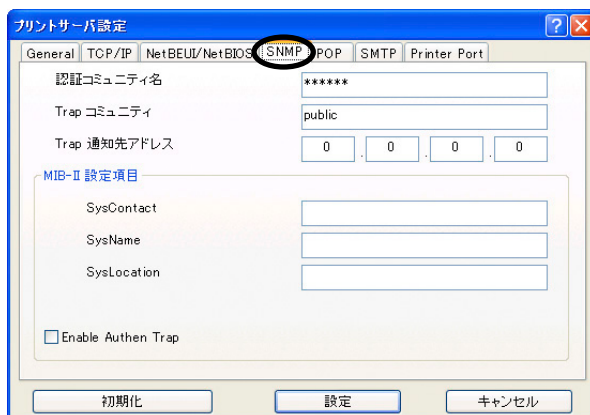
- 半角英数字
- ! # \$ % & ' (- . ^ _ { } ~ (半角記号)

ただし、「。」だけの名前は使用できません。

上記以外の文字を設定した場合、工場出荷時設定のコンピュータ名又はワークグループ名が使用されます。

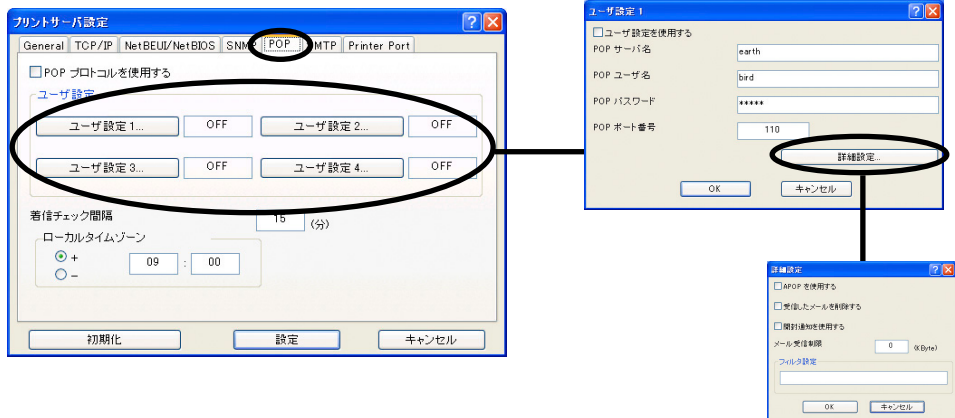
また、コンピュータ名とワークグループ名が同じものが設定された場合も、工場出荷時設定のコンピュータ名又はワークグループ名が使用されます。

SNMPの設定



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定	
SNMP	認証コミュニティ名	SNMPの認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受け付けるときに認証されます。	public	
	Trapコミュニティ	SNMPのトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。	public	
	Trap通知先アドレス	SNMPトラップの送信先IPアドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0	
	MIB-II 設定 項目	SysContact	SysContactを設定します。 通常は管理者のメールアドレスを設定します。	なし
		SysName	SysNameを設定します。 通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。	なし
		SysLocation	SysLocationを設定します。 通常は本製品のある場所を設定します。	なし
		Enable Authen Trap	Enable Authen Trapを有効 (ENABLE) にします。この設定を有効 (ENABLE) にすると、SNMPでコミュニティ違反が発生した時、SNMPトラップが「Trap通知先アドレス」で設定したIPアドレスに向けて発信されます。	DISABLE

POPの設定



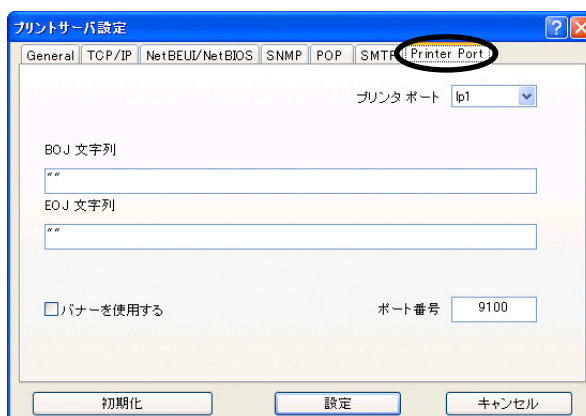
タブ	項目	設定内容	工場出荷設定	
POP		各ユーザーのメール受信機能を有効 (ENABLE) にします。	DISABLE	
	ユーザー設定 (1~4)	ユーザー設定を使用する		ENABLE
		POPサーバ名	メール・サーバーのホスト名 (またはIPアドレス) を設定します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし
		POPユーザ名	メールアカウントのログイン名 (ユーザー名) を設定します。	なし
		POPパスワード	メール・サーバーに接続する際に使用するパスワードを設定します。	なし
		POPポート番号	POPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値 (110) で使用してください。	110
	詳細設定	APOPを使用する	APOPを有効 (ENABLE) にします。APOPを利用するには、メール・サーバーがAPOPに対応している必要があります。	DISABLE
		受信したメールを削除する	本製品が受信・印刷したメールをメール・サーバー上から削除するかを設定します。 印刷対象でない添付ファイルのあるメールは、この設定を有効 (ENABLE) にしていてもメールは削除されません。	DISABLE
		開封通知を使用する	開封通知が指定されたメールに対して返信を行うかを設定します。開封通知メールは、SMTP設定のサーバー情報に対して送信処理を行います。	DISABLE
		メール受信制限	指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバーから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に0を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを受信します。	0
		フィルタ設定	特定のメールのみ印刷するように設定します。 ヌル (空文字列) の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件 (S:文字列)、宛先条件 (T:文字列)、同報宛先条件 (C:文字列)、送信元条件 (F:文字列) の4種類のセンテンスをOR条件 () または、AND条件 (&) で接続した文字列で設定します。	なし
		着信チェック間隔(分)	メール・サーバーに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。	15
ローカルタイムゾーン	タイムゾーンを設定します。日本での使用は "+09:00" となります。	+9:00		

SMTPの設定



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定	
SMTP	SMTP プロトコルを使用する	SMTPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。 無効 (DISABLE) にするとE-Mail送信機能が停止します。	DISABLE	
	SMTPサーバ名	SMTPサーバーのホスト名を設定します。 ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。 ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし	
	送信元アドレス	送信元のアドレスを設定します。 通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。	なし	
	送信先アドレス (1~2)	送信先のメールアドレスを設定します。	なし	
	送信条件 (1~2)	選択条件 オフライン	プリンターがオフラインになったときメールを送信します。	OFF
		紙切れ	プリンターの用紙がなくなったときメールを送信します。	OFF
		プリンタ異常	プリンターに異常が発生したときメールを送信します。	OFF
		チェック間隔	イベントの記録があるかを一定間隔 (分単位) でチェックします。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
	詳細設定	SMTPポート番号	SMTPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値 (25) で使用してください。	25
		署名	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。	----- (製品名) [00:A0:7A:XX:XX:XX] ----- (製品名と Ethernetアドレス)
認証	SMTP認証を使用する	SMTP認証の使用有無を指定します。	DISABLE	
	ユーザ名	SMTP認証名を指定します。	なし	
	パスワード	SMTP認証パスワードを指定します。	なし	

Printer Portの設定



タブ	項目	設定内容	工場出荷設定
Printer Port	プリンタポート	各プリンター・ポートを設定します (lp1～lp6)。	なし
	BOJ文字列	直接出力ポート (lpポート) に出力する前に、プリンターに送出する文字列 (最大63文字) を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	EOJ文字列	直接出力ポート (lpポート) に出力した後に、プリンターに送出する文字列 (最大63文字) を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	バナーを使用する	LPR、FTP、Raw Portで印刷する場合にバナーページを出力するか設定します。	NO
	ポート番号	Rawモード印刷にて、各印刷ポートが使用するネットワークのポート番号を設定します (設定値: 1025～65535)。	lp1: 9100 lp2: 9101 : : lp6: 9105

例)

BOJ文字列およびEOJ文字列の入力例:

制御コード: 用紙モード切り替えによる単票モード指定において、16進コード「X'1B 7E 10 00 01 02」を設定する場合は、

¥x1B¥x7E¥x10¥x00¥x01¥x02

と入力します。



16進コードに文字コードが割り当てられている場合、文字列設定後にウィンドウを再表示させると、該当する文字に置き換えられて表示されます。

例:

¥x25 ⇒ " % "

¥x31 ⇒ " 1 "

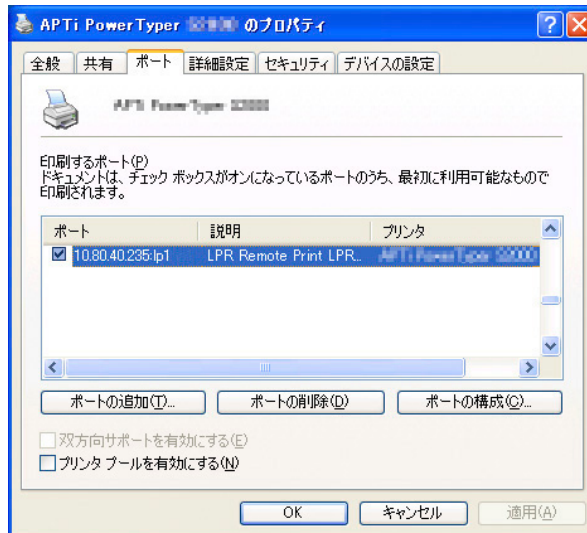
¥x7E ⇒ " ~ "

LPR Remote Printのポート設定 (LPR、RAW)

LPR Remote Printを使用する際、ネットワーク環境やプリンターの状態によって、正常に接続できない、あるいは印刷が行えない場合があります。

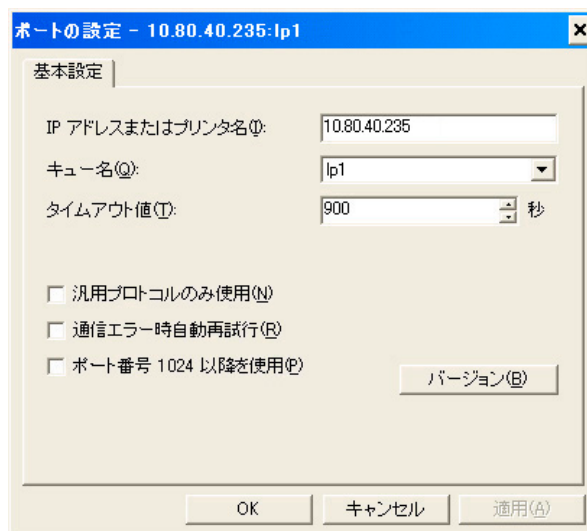
LPR Remote Printでは、その場合の動作を以下の設定機能により選択することができます。

LPR Remote Printをインストール後、プリンター・ドライバーのプロパティを開き、「ポート」タブを開くと以下の画面になりますので、「ポートの構成」をクリックしてください。



LPRとRAWによって、画面構成が異なります。

LPRの場合



RAWの場合

ポートの設定 - RAW_10.80.40.235

基本設定

IP アドレスまたはプリンタ名: 10.80.40.235

ポート番号(P): 9100

タイムアウト値(T): 900 秒

通信エラー時自動再試行(R)

バージョン(B)

OK キャンセル 適用(A)

項目	設定内容	工場出荷設定
汎用プロトコルのみ使用	接続の最初に行う特殊プロトコルによる機器判別を省略します (LPRのみ)。	DISABLE
通信エラー時自動再試行	これをチェックすることにより、通信上の障害で送信ができない場合に表示されるポップアップ画面が、通信可能となった時点で自動的に消去され、印刷が再開されます。	DISABLE
ポート番号1024以降を使用	これをチェックすることにより、LPR出力ポート番号721～731および1024以降を使用します (LPRのみ)。	DISABLE

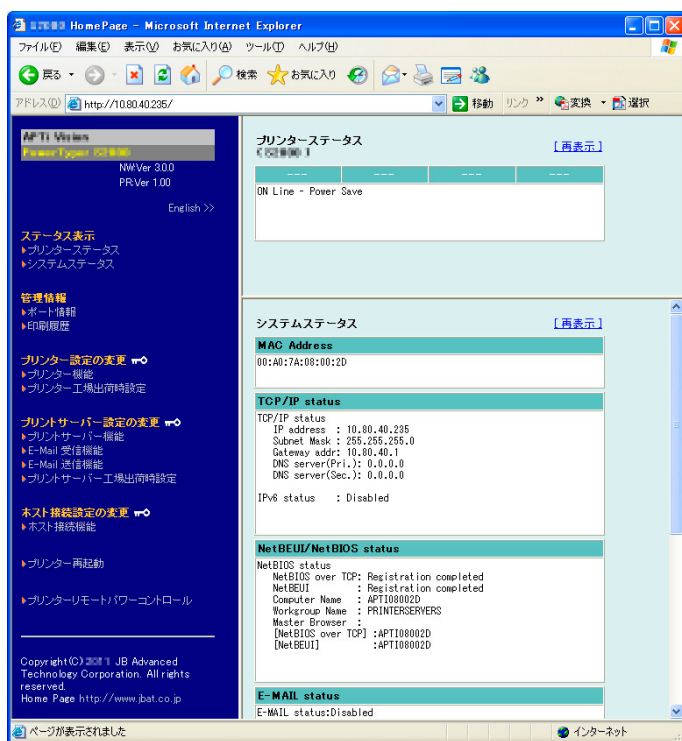
Webブラウザで設定する

本製品はHTTPプロトコルを搭載していますので、Webブラウザを利用して本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やNW初期値印刷、プリンター・ステータス・モニターなどの便利な機能が利用できます。



重要

- Webブラウザを使用する場合、本製品のTCP/IPプロトコル設定が有効であり、IPアドレスが設定されている必要があります。
- Webブラウザは、Netscape Navigator 4.7以降及びInternet Explorer 5.0以降のバージョンを推奨します。また、Webブラウザの種類によって多少表示が異なる場合があります。
- 本製品の機種によっては、Webブラウザに表示される内容が異なります。

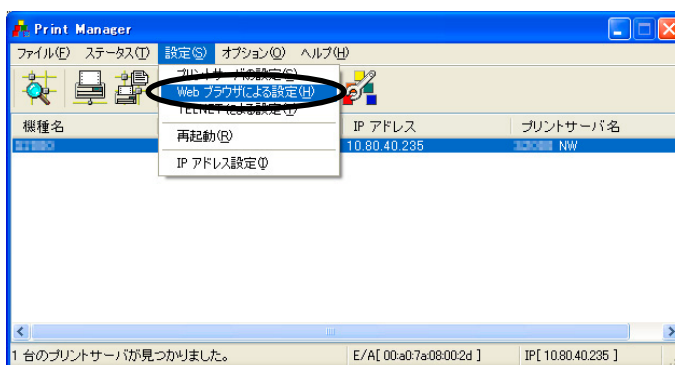


本製品のWebページを表示する

設定を行う本製品のWebページを表示します。表示方法は2つあります。

Print ManagerからWebページを表示する

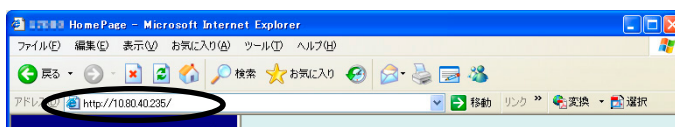
Print Managerの一覧表示の中から、設定を行う本製品を選択し、メニューの「設定」-「Webブラウザによる設定」をクリックします。



WebブラウザからWebページを表示する

本製品に設定されたIPアドレスをWebブラウザに入力します。

例) <http://10.80.40.235/>



本製品Webページメニュー構成

Webページで設定できる項目は以下の通りです。

	項目	説明
ステータス表示	プリンターステータス	プリンター・ステータスを表示
	システムステータス	システム・ステータスを表示
管理情報	ポート情報	ポート情報を表示
	印刷履歴	印刷ジョブログを表示
プリンター設定の変更	プリンター機能	「設置・操作ガイド」を参照。
	プリンター工場出荷時設定	
プリントサーバー設定の変更	プリントサーバー機能	ネットワーク・インターフェースの各種設定
	E-Mail受信機能	E-Mail受信機能の設定
	E-Mail送信機能	E-Mail送信機能の設定
	トップページのカスタマイズ	本製品のWebページの表示設定
	プリントサーバー工場出荷時設定	通信インターフェースの工場出荷時設定実行
プリンター再起動		プリンター再起動の実行
プリンターリモートパワーコントロール		「設置・操作ガイド」を参照。

本製品のWebページから設定する



Webブラウザを起動後初めてメニューをクリックすると、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

ユーザー名 : root

パスワード : (環境設定で設定したパスワード)

を各自入力して、「OK」をクリックしてください。

パスワードを設定していない場合は、パスワード欄は未入力のまま「OK」をクリックしてください。

プリントサーバー機能を設定する

Webブラウザに表示されている設定項目をクリックすると、設定Web画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。

設定項目に関する詳細は、本章「Webブラウザ/TELNET設定項目」を参照してください。



Webブラウザからプリンター機能を設定する

プリンターの操作パネルで設定される各初期設定値を、Webブラウザ画面の「プリンター機能」メニューから設定できます。

詳しい手順に関しては、「設置・操作ガイド」を参照してください。



TELNETで設定する

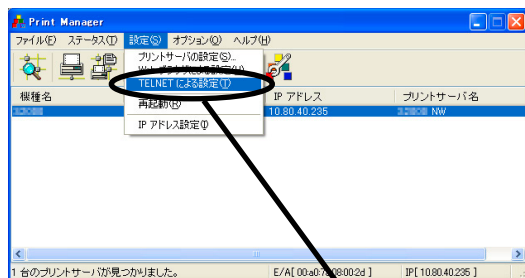
本製品はTELNETプロトコルを搭載していますので、UNIXマシンまたは、パソコンのTCP/IPソフトに付属のTELNETを利用して本製品の詳細な設定を行うことができます。

設定項目に関する詳細は、本章「Webブラウザ/TELNET設定項目」を参照してください。



重要

- TELNETを利用する場合は、IPアドレスが設定されている必要があります。
- TELNETで設定を行うにはrootユーザーでログインする必要があります。
- 本製品の機種によっては、使用可能な機能が異なります。



```
TELNET 10.80.40.235
(P/N) NW Ver *.* TELNET server.
Copyright (C) JB Advanced Technology Corporation. All right reserved.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

No.  Item                               Value          (level.1)
-----
 1 :  Configure General
 2 :  Configure TCP/IP
 3 :  Configure NetBEUI/NetBIOS
 4 :  Configure SNMP
 5 :  Configure Logical Port
 6 :  Configure HOST Connection
96 :  Display Status
97 :  Reset Settings to Defaults
98 :  Restart Print Server
99 :  Exit
Please select (1 - 99)?
```

Webブラウザ/TELNET設定項目

プリント・サーバー機能

General

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
General	一般設定/Configure General			
	rootパスワード変更	Change Root Password	本製品の管理パスワードをASCII文字列(7文字以内)で設定します。 このパスワードはPrint Manager、TELNET、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
	LANインタフェース	LAN Interface	物理ネットワークの種別を設定します。通常はAUTOで使用してください。 本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
	コマンドタイムアウト	Command Reply Timeout	プリンターとの通信のタイムアウト値を秒単位で設定します(設定値: 1~30)。	10
	コマンドリクエスト間隔	Command Request Interval	プリンターに対してMIB Objectを取得する間隔の初期値を秒単位で設定します(設定値: 0~30)。	5
	USB転送タイムアウト	USB Transfer Timeout	USBでのデータ転送のタイムアウト値を秒単位で設定します(設定値: 1~180)。	30
	キープアライブ設定	Keep-Alive Function	キープアライブ・パケットの送出動作の有無を設定します。 DISABLE が設定された場合は、キープアライブ・パケットの送出動作を行いません。	ENABLE
	キープアライブ時間(分)	Keep-Alive Time(min)	キープアライブ・パケットの送出動作を「キープアライブ時間」で設定された時間の間隔で行います。(設定値: 2~120)	3分

TCP/IP

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
TCP/IP	TCP/IP設定 / Configure TCP/IP			
	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。DHCPとBOOTPを自動認識し、先に応答のあったIPアドレスを自分のアドレスとして採用します。	DISABLE
	RARP	RARP	RARPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。	DISABLE
	IPアドレス	IP Address	本製品のIPアドレスを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	サブネットマスク	Subnet Mask	本製品のサブネット・マスクを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IPアドレスに応じたサブネット・マスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	Default Gateway	本製品のデフォルト・ゲートウェイを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。	0.0.0.0
	IPv6機能	IPv6 Function	IPv6の使用有無を指定します。	DISABLE
	NetworkPnP	NetworkPnP Enable	UPNP機能の使用有無を指定します。	ENABLE

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
TCP/IP	DNS設定 / DNS			
	プライマリサーバ	Primary Server	DNSサーバー（プライマリ）のアドレスを設定します。 POP/SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	セカンダリサーバ	Secondary Server	DNSサーバー（セカンダリ）のアドレスを設定します。 POP/SMTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	WINS設定 / WINS			
	プライマリサーバ	Primary Server	WINSサーバー（プライマリ）のアドレスを設定します。 WINSサーバーは ホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	セカンダリサーバ	Secondary Server	WINSサーバー（セカンダリ）のアドレスを設定します。 WINSサーバーは ホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名で行うことができます。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	スコープID	Scope ID	スコープIDは登録されたホスト名を認識するコンピュータのグループを定義します。	なし
	IP Filter設定 / IP Filter Config			
	動作モード	Filter Mode	IPフィルターの動作を設定します。 設定には「ALLOW」と「DENY」があり、「ALLOW」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「DENY」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
	フィルタ #0-3 開始/終了アドレス	Filter #0-3 start/end address	IPフィルターの範囲を設定します。 フィルターしたいIPアドレスの範囲は 4 組まで設定できます。設定が不要な場合はアドレス範囲を「0.0.0.0」から「0.0.0.0」にしてください。	0.0.0.0

NetBEUI/NetBIOS

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
NetBEUI/ NetBIOS	NetBEUI/NetBIOS設定 / Configure NetBEUI/NetBIOS			
	NetBEUI プロトコル	NetBEUI Protocol	NetBEUIプロトコルを有効 (ENABLE) にします。	ENABLE
	NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。	ENABLE
	コンピュータ名	Computer Name	Windowsのエクスペローラに表示されるコンピュータ名を設定します。	APTlxxxxx (Ethernetアドレス)
	ワークグループ	Workgroup	本製品が所属するワークグループを設定します。ネットワークに無い、新しいワークグループ名はワークグループとして認識されません。	PRINTERSERVERS
	コメント	Comment	本製品のコメント (説明) を設定します。ここで設定した情報が、Windowsのエクスペローラにて本製品のコメント (説明) として表示されません。	(製品名)
	マスタブラウズ機能	Master Browse	マスタブラウズ機能を有効 (ENABLE) にします。	ENABLE



コンピュータ名及びワークグループ名には以下の文字が使用できます。それ以外の文字は使用できません。

- ・半角英数字
- ・ ! # \$ % & ' `) (- . ^ _ { } ~ (半角記号)

ただし、「.」だけの名前は使用できません。

上記以外の文字を設定した場合、工場出荷時設定のコンピュータ名又はワークグループ名が使用されます。

また、コンピュータ名とワークグループ名が同じものが設定された場合も、工場出荷時設定のコンピュータ名又はワークグループ名が使用されます。

SNMP

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
SNMP	SNMP設定 / Configure SNMP			
	認証コミュニティ名	Authentic Community	SNMPの認証コミュニティ名を設定します。 このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受け付けるときに認証されます。	public
	Trapコミュニティ名	Trap Community	SNMPのトラップコミュニティを設定します。 このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。	public
	Trap通知先アドレス	Trap Address(IP)	SNMPトラップの送信先IPアドレスを設定します。 設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。	0.0.0.0
	SysContact	SysContact	SysContactを設定します。 通常は管理者のメールアドレスを設定します。	なし
	SysName	SysName	SysNameを設定します。通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。	なし
	SysLocation	SysLocation	SysLocationを設定します。 通常は本製品のある場所を設定します。	なし
	EnableAuthen Trap	EnableAuthen Trap	Enable Authen Trapを許可(1)／禁止(2)で設定します。 この設定を許可(1)にすると、SNMPでコミュニティ違反が発生した時、SNMPトラップが「Trap通知先アドレス」で設定したIPアドレスに向けて発信されます。	2

Logical Port

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
Logical Port	論理ポート		各論理ポートを設定します (PORT1~6)。	
	BOJ文字列	BOJ String	直接出力ポート (lpポート) に出力する前に、プリンターに送出する文字列 (最大63文字) を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	EOJ文字列	EOJ String	直接出力ポート (lpポート) に出力した後に、プリンターに送出する文字列 (最大63文字) を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	TCP/IP Raw モード番号	TCP/IP Raw Mode Port Number	Rawモード印刷にて、各印刷ポートが使用するネットワークのポート番号を設定します (設定値: 1025~65535)。	port1 : 9100 port2 : 9101 : : port6 : 9105
	バナーを使用 する	Use Banner	LPR、FTP、Raw Portで印刷する場合にバナーページを出力するか設定します (設定値: YES/NO)。	NO

例)

BOJ文字列およびEOJ文字列の入力例:

制御コード: 用紙モード切り替えによる単票モード指定において、16進コード「X'1B 7E 10 00 01 02」を設定する場合は、

¥x1B¥x7E¥x10¥x00¥x01¥x02

と入力します。



16進コードに文字コードが割り当てられている場合、文字列設定後にウィンドウを再表示させると、該当する文字に置き換えられて表示されます。

例:

¥x25 ⇒ " % "

¥x31 ⇒ " 1 "

¥x7E ⇒ " ~ "

E-Mail受信 (POP)

		項目		設定内容	工場出荷設定
		Webブラウザ	TELNET		
E-Mail 受信 (POP)	基本設定	POP プロトコル	POP Protocol	POPプロトコルを有効(ENABLE)にします。	DISABLE
		着信チェック間隔(分)	Check Interval(min.)	メール・サーバーに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。	15
		ローカルタイムゾーン	Local Time Zone	タイムゾーンを設定します。 日本での使用は"+09:00"となります。	+9:00
	このユーザ設定を使用する(1~4)		User Profile (1~4)	各ユーザーのメール受信機能を有効(ENABLE)にします。	DISABLE
	POP サーバ名	POP Server Name	メール・サーバーのホスト名(またはIPアドレス)を設定します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし	
	POP ポート番号	POP Port Number	POPポート番号を設定します。 通常はデフォルト値(110)で使用してください。	110	
	POP ユーザ名	POP User Name	メールアカウントのログイン名(ユーザー名)を設定します。	なし	
	POP パスワード	POP Password	メール・サーバーに接続する際に使用するパスワードを設定します。	なし	
	APOPを使用する	Use APOP	APOPを有効(ENABLE)にします。 APOPを利用するには、メール・サーバーがAPOPに対応している必要があります。	NO	
	受信したメールを削除する	Delete Mail after Retrieve	本製品が受信・印刷したメールをメール・サーバー上から削除するかを設定します。 印刷対象でない添付ファイルのあるメールは、この設定を有効(ENABLE)にしている場合でもメールは削除されません。	NO	
メール受信制限(Kbyte)	Maximum Retrieve (KByte)	指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバーから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に0を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを受信します。	0		
フィルタ設定	Filter Setting	特定のメールのみ印刷するように設定します。 ヌル(空文字列)の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件(S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同報宛先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列)の4種類のセンテンスをOR条件(!)または、AND条件(&)で接続した文字列で設定します。	なし		
開封通知	Return a read receipt	開封通知が指定されたメールに対して返信を行うかを設定します。 開封通知メールは、SMTP設定のサーバー情報に対して送信処理を行います。	NO		

E-Mail送信 (SMTP)

	項目		設定内容	工場出荷設定		
	Webブラウザ	TELNET				
E-Mail 送信 (SMTP)	SMTP プロトコルを使用する	SMTP Protocol	SMTPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。無効にするとE-Mail送信機能が停止します。	DISABLE		
	SMTPサーバ名	SMTP Server Name	SMTPサーバーのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし		
	SMTPポート番号	SMTP Port Number	SMTPポート番号を設定します。通常はデフォルト値 (25) で使用してください。	25		
	送信元アドレス	From Address	送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。	なし		
	署名(1~4行目)	Signature Line (1~4)	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。	----- 製品名 [Ethernetアドレス] -----		
	状態通知メール送信アドレス (1~2)	Event to Address (1~2)	プリンターの状態が変化したら状態通知メールを送信する、送信アドレス (1~2) 毎の送信条件を設定します。	—		
		送信先アドレス (1~2)	To Address (1~2)	状態通知の送信先のメールアドレスを設定します。	なし	
		チェック間隔 (分)	Check Interval(min.)	イベントの記録があるかを一定間隔 (分単位) でチェックします。この間隔内に 1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10	
		オフライン	Offline	プリンターがオフラインになったときメールを送信します。	OFF	
		紙切れ	Paper Empty	プリンター用の紙がなくなったときメールを送信します。	OFF	
		プリンタ異常	Fault	プリンターに異常が発生したときメールを送信します。	OFF	
		お知らせメール送信アドレス	Life Event for Address	部品交換時期になったらお知らせメールを送信する送信条件を設定します。	—	
			送信先アドレス	To Address for life	お知らせメールの送信先メールアドレスを設定します。	なし
			チェック間隔 (分)	Life Check Interval(min.)	部品が交換時期かを一定間隔 (分単位) でチェックします。	10
			お知らせ機能	Life Detection	交換時期になったらメールを送信します。	DISABLE
	S M T P 認 証 設 定	SMTP認証	SMTP AUTH Enable	SMTP認証の使用有無を指定します。	DISABLE	
		SMTP 認証名	SMTP AUTH Name	SMTP認証名を指定します。	なし	
		SMTP 認証パスワード	SMTP AUTH Password	SMTP認証パスワードを指定します。	なし	

第6章 Network Monitor

Network Monitorについて

ポップアップステータスマニター「Network Monitor」はプリンターの状態をパソコン画面に表示してお知らせします。また、デスクトップに常駐するため、プリンターの状態をリアルタイムに監視することができます。

Network Monitorの起動

「スタート」－「プログラム (Windows Vistaの場合は「すべてのプログラム」)」－「NETManager(または任意で指定したグループ名)」－「Network Monitor」を実行すると、Network Monitorが起動します。



Network Monitorの表示（フルモードの場合）

Windows標準の外観で、詳細なプリンター情報を表示することができます。

プリンタ情報

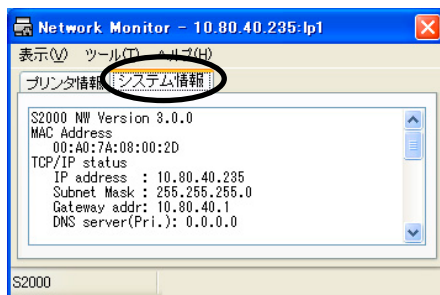
プリンター・ステータス状態および印刷状況を表示します。



- ステータスメッセージ
プリンターの状態を文字列で表示します。
「プリンタは印刷中です。」
「プリンタはオフラインです。」
「用紙がなくなりました。」 等
- 機種名
本製品の機種名を表示します。
- 転送状況
機種名の右に、印刷データの転送状況を表示します。

システム情報

本製品のシステム・ステータスを表示します。



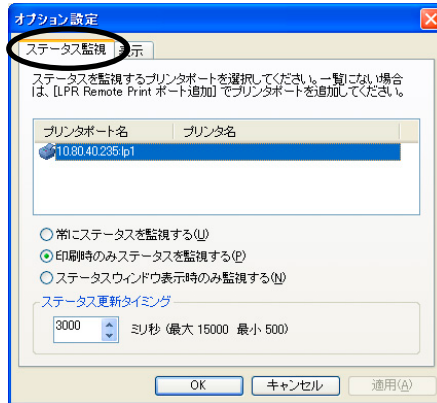
メニュー構成

メニュー	項目	説明
表示	常に最前面に表示する	ウィンドウを常に最前面に表示します。ただし、同様の設定のウィンドウが重なった場合には、そのウィンドウの背面に隠れます。
	最小化する	ウィンドウを最小化します。元に戻すには、タスク通知エリアのアイコンをクリックします。
	終了	Network Monitorを終了します。
ツール	オプション設定	オプション設定ダイアログを表示します。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

オプション設定ダイアログ

Network Monitorの使用条件を変更することができます。「オプション設定」をクリックして、「オプション設定」画面を表示してください。

ステータス監視



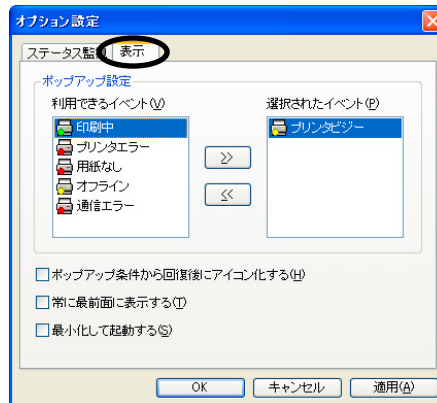
- LPR Remote Printポート一覧
ご使用のパソコンに登録されているLPR Remote Printポートの一覧が表示されます。この一覧からステータス監視を行う本製品を選択します。



LPR Remote Printポート一覧に表示されるポートは、LPRポート、Rawポートのみで、IPPポートは表示されません。

- 常にステータスを監視する
システムに常駐することにより、常にプリンターの状態を監視することができます。
- 印刷時のみステータスを監視する
LPR Remote Printポートでの印刷時のみプリンターの状態を監視します。LPR Remote Printポートでの印刷データ転送が完了すると、自動的に終了します。
- ステータスウィンドウ表示時のみ監視する
ステータスウィンドウを表示しているときのみプリンターの状態を監視することができます。
- ステータス更新タイミング
プリンター・ステータスを最新の情報に更新する間隔を設定します。

表示



- 利用できるイベント
「Network Monitor」が表示できるイベントの一覧です。
- 選択されたイベント
「Network Monitor」に表示するイベントを選択した一覧です。ここに選択したイベントと、プリンターのイベントが一致した場合、「Network Monitor」を表示します。
- >>
「利用できるイベント」の項目を「選択されたイベント」に追加します。
- <<
「選択されたイベント」の項目を「利用できるイベント」に戻します。
- ポップアップ条件から回復後にアイコン化する
プリンターのイベントが終了した後、「Network Monitor」を自動的に最小化し、タスクバーに常駐します。
- 常に最前面に表示する
ウィンドウを常に最前面に表示します。ただし、同様の設定のウィンドウが重なった場合には、そのウィンドウの背面に隠れます。
- 最小化して起動する
「Network Monitor」を最小化した状態で起動します。

第7章 Q&A

本章では本製品の導入時に想定される問題と、その解決法を説明します。

文中マークの見方

確認

問題が起きた時に、最初に確認してください。

対策

問題解決のための具体的な手段です。

- 弊社ホームページ (www.jbat.co.jp) において、FAQ及び製品に関する最新情報を公開していますので、併せてご参照ください。
- 本書及び弊社ホームページに、該当する項目がない、あるいは問題が解消されない場合は、販売店にご連絡ください。

導入時の問題

- 「設定ツール (Quick Setup、Print Manager) で検索しましたが、本製品が一覧に表示されません」
- 「ネットワーク上で本製品が認識されません」

確認1

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- プリンターの電源はONになっていますか？
- 設定内容を確認してください。

NW詳細印刷を実行し、NGが印刷される場合は、本章の7-3ページ「NW詳細印刷結果でNGが印刷されます」を参照してください。



NW詳細印刷の方法については 第1章「プリンターのネットワーク設定」を参照してください。

確認2

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- プリンターの「NWモニター」モードで、点検ランプが点灯していますか？また、本プリンターと接続されているイーサネットハブ (HUB) のLINK LEDが点灯していますか？点灯していない場合は、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していないか確認してください。



「NWモニター」モードについては、第1章「プリンターのネットワーク設定」を参照してください。

確認3

Print Managerのメニューバーの「オプション」－「TCP/IPプロトコルで検索する」を選択して、再度検索を行ってください。

対策

「確認1」～「確認5」で解決しなかった場合は、本製品の初期化を行い、工場出荷時設定に戻してください。その後、ネットワーク環境に合わせて再度設定を行ってください。



本製品を工場出荷時設定に戻す方法については、本書 第1章「プリンターのネットワーク設定」、設置・操作ガイド「初期設定値の初期化」および「インターフェース設定値の変更方法」を参照してください。

- 「NW詳細印刷を行えません」
- 「『645（または646, 647）マシンチェック』と表示されます」

対策

内部インターフェースカードまたは内部コントローラーカードが故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。

- 「NW詳細印刷結果でNGが印刷されます」

確認

- NIC CheckがNGの場合、プリンターにネットワークケーブルが正しく接続されていない可能性があります。

対策

- ROM, RAM CheckがNGの場合、内部インターフェースカードまたは内部コントローラーカードが故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。
- EEPROM CheckがNGの場合、内部インターフェースカードまたは内部コントローラーカードが故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。
- NIC CheckがNGで、ネットワークケーブルが正しく接続されている場合は、販売店にご連絡ください。

● 「IPアドレスの設定を行うと通信エラーになります」

確認1

プリンターの「NWモニター」モードで、各ランプが正常に点灯しているか確認してください。

- ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していないか確認してください。



「NWモニター」モードについては、第1章「プリンターのネットワーク設定」を参照してください。

確認2

設定ツールを起動しているパソコン側のIPアドレスが確定しているか確認してください。

- ご使用のパソコンおよびネットワークに存在する他のパソコンと通信ができていないか確認するために、MS-DOSプロンプトよりPingコマンドを実行してください。

確認3

プリンターのネットワーク設定が初期化されているか確認してください。



本製品を工場出荷時設定に戻す方法については、本書 第1章「プリンターのネットワーク設定」、設置・操作ガイド「初期設定値の初期化」および「インターフェース設定値の変更方法」を参照してください。

確認4

ネットワーク上にDHCPまたはRARPサーバーが存在している可能性があります。

- ルーターやサーバーが不正なIPアドレスをプリンターに割り当てている可能性がありますので、ルーターやサーバーが存在しない環境 (パソコン1台、HUB1台、プリンター1台のローカル環境) を作成して、プリンターのIPアドレス設定を行ってください。

確認5

対象プリンターと設定を行っているパソコンが同一セグメント内でない可能性があります。

- 本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内であることを確認してください。

対策

上記確認で問題が解決されない場合、内部インターフェースカード、または内部コントローラーカードが故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。

印刷時の問題

● 「印刷が行えません」

確認1

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- プリンターの電源はONになっていますか？

確認2

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- プリンターの「NWモニター」モードで、点検ランプが点灯していますか？
また、本プリンターと接続されているイーサネットハブ(HUB)のLINK LEDが点灯していますか？
- ネットワーク・ケーブルが正しく接続されていますか？
- ネットワーク・ケーブルは断線していませんか？
- イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していませんか？



「NWモニター」モードへの設定方法は第1章「プリンターのネットワーク設定」を参照してください。

確認3

同印刷データがパラレル・インターフェースで出力されますか？

印刷されない場合は設置・操作ガイド「困ったときには」を参照してください。

対策

上記確認で問題が解決されない場合、内部インターフェースカード、または内部コントローラカードが故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。

Windows TCP/IP環境での問題

● 「印刷が行えません」

確認1

TCP/IPプロトコルを使用している場合、本製品に割り当てたIPアドレスに、pingコマンドを使って、応答があるか確認してください。pingコマンドによる応答がない場合、IPアドレスが正しく設定されていない可能性があります。本製品の初期化を行い、工場出荷時設定に戻してください。その後、再度IPアドレスの設定を行ってください。

例) コマンド プロンプトでpingを実行する場合
「スタート」-「すべてのプログラム」-「コマンド プロンプト」で、
Ping XXX.XXX.XXX.XXX
を実行すると下記内容が表示されます。XXX.XXX.XXX.XXXは本製品のIPアドレスです。

(Pingに応答がある場合)
Reply from XXX. XXX. XXX. XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253
Reply from XXX. XXX. XXX. XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253
Reply from XXX. XXX. XXX. XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253
Reply from XXX. XXX. XXX. XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

(Pingに応答がない場合)
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.



本製品を工場出荷時設定に戻す方法については、本書 第1章「プリンターのネットワーク設定」、設置・操作ガイド「初期設定値の初期化」および「インターフェース設定値の変更方法」を参照してください。

確認2

使用しているプリンター・ドライバーの印刷先ポートの設定ができていない可能性があります。「プリンタ」のプロパティの「詳細」で「印刷先のポート」を確認してください。本製品のポート名は、任意のポート名の後に「LPR Remote Print LPR Port」、「LPR Remote Print IPP Port」または「LPR Remote Print Raw Port」と記されています。

例) 印刷先ポート=xxx.xxx.xxx.xxx:lp< LPR Remote Print LPR Port>
※xxx.xxx.xxx.xxxはIPアドレス

対策1

お使いのパソコンと本製品が同一セグメント内でない場合、本製品にサブネット・マスク、ゲートウェイ・アドレスの設定を行う必要があります。Print Manager、または本製品のWebページでサブネット・マスク、ゲートウェイ・アドレスが正しく設定されているか確認してください。

対策2

ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバーまたはRARPサーバーが存在していると、IPアドレスの自動割当を行うため、本製品に設定したIPアドレスが、各サーバーにより書き換えられてしまう可能性があります。

各サーバーに本製品のIPアドレスを自動的に割り当てられないように、設定項目の「DHCP/BOOTPを使用する」のチェックボックスを外して、再度IPアドレスの設定を行ってください。

● 「印刷中にエラーが発生します」

確認

他の人が大量に印刷していたり、大きなサイズのデータ（高解像度の画像データ等）を印刷している時に印刷を行った場合、他の人の印刷が終了するまで印刷ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなる場合があります。その際は、再度印刷を行ってください。

● 「印刷を行うとダイヤルアップが起動します」

確認

ダイヤルアップを「キャンセル」すると、ダイヤルアップアダプターからLANアダプターへ処理が移行され、印刷が開始されます。この現象はWindowsの仕様によります。

● 「連続印刷をすると、印刷が遅くなります」

確認

LPR Remote PrintのLPRポートを使用して、小さな印刷データを連続して12ジョブ以上印刷した場合、12ジョブ目以降の印刷開始が遅延する場合があります。これは標準的なネットワークの規格によるものです（「対策」のNote「ネットワーク印刷の仕様」参照）。

対策

以下の操作を実行してください。

1. Windowsタスクバーのスタートボタンをクリックして「設定」—「プリンタとFAX」を選択します。
2. 対象となるプリンターを右クリックして「プロパティ」を選択します。
3. 「ポート」タブを選択して「ポートの構成」をクリックします。
4. 「ポート番号1024以降を使用」をチェックして、OKをクリックします。
5. 「ポート」タブに戻ったら、「閉じる」をクリックします。



ネットワーク印刷の仕様

RFC1179の規格では、印刷に使用されるポートを11個（ポート721～731）と規定しています。またRFC1122においては、4分間はポートの再利用を禁止しています。

小さな印刷データを複数のジョブ（ジョブ毎に新たなポートを使用します）に分割して印刷した場合、12個目以降のジョブは既に使用しているポートを再利用しなければならず、先に印刷したジョブの終了後4分間待たないと印刷できないことになります。

上記対策は、この11個以外のポートも使用できるようにするものです。

Windows NetBIOS over TCP/IP環境での問題

- 「印刷した際に、エラーメッセージが表示されます」

対策

プリンターの状態によって、エラーメッセージが表示される場合があります。この現象はMicrosoft Network印刷の仕様によります。

運用上問題がある場合は、TCP/IPプロトコルのLPR・IPP印刷を使用してください。

その他

- 「本製品のWebページで設定変更を行っても、設定内容の更新を行えません」

確認

Webブラウザの接続設定を「プロキシサーバを使用しない」に設定してください。

付録A 対応プロトコル

- TCP/IP
TCP#9100、LPD、FTP、IPP、HTTP、TELNET、DHCP、BOOTP、SNMP、POP3、SMTP、DNS、IPv6、ICMP6、WINS、TCP、UDP、ARP、RARP、IP、ICMP、NetBIOS over TCP
- NetBEUI
SMB/CIFS、NetBIOS

付録B IPv6機能について

製品に搭載されるIPv6機能についての利用方法と制限事項について説明します。

IPv6 とは？

TCP/IPはInternetとともに広く普及してきたプロトコルですが、現在のInternet Protocol(IPv4)ではホストアドレスを表わすためのフィールドが32bitしかないため、あと数年すればそのアドレス空間が枯渇してしまう見込みとなっています。

そこで、アドレス空間の拡大を図り、さらに従来のTCP/IPで問題となっていた部分を修正したり、欠けていた機能を追加して、新しいプロトコル体系の取り決めが行われています。それがInternet Protocol, Version 6 (IPv6) です。



重要

IPv6機能のご利用にあたっては、本製品だけでなくネットワークを構成する各ネットワーク機器(RouterやPC)がIPv6に対応している必要があります。

IPv6機能概要

IPv6に対応する操作

本製品のIPv6機能ではIPv6ネットワークにて以下の操作を行うことができます。

- * TELNET または HTTP による設定
- * FTP または LPR による印刷
- * ping6 コマンドによる応答確認
- * traceroute6 コマンドによる経路追跡

本製品のIPv6アドレス本製品のリンクローカルアドレスは以下のとおりです。

リンクローカルアドレス : FE80:0:0:0:02A0:7A:92FF:FExx:yyzz
(xyyzzは本製品のEthernetアドレスの下3桁です)



IPv6ネットワーク上にステートレス自動設定機能を持つIPv6ルーターが存在する場合は、ルーターから自動設定することができます。



制限事項

- 本製品のIPv6アドレス設定方法はリンクローカル及びステートレス自動設定の2種だけです。マニュアル設定およびステートフル自動設定(DHCPv6)には対応していません。
- セキュリティ機能は認証ヘッダー(AH)、暗号ペイロード(ESP)ともに対応していません。
- IPv6ヘッダーのトラフィック・クラスおよびフロー・ラベルは0固定です。
- 巨大ペイロード・オプションには対応していません。
- パケットの断片化／再構成には対応していますが、ヘッダー部を含め3072byteを上限としています。
- SNMPのIPv6 MIBには対応していません。
- IPv6ネットワーク上における付属ツールの一覧検索には対応していません。
- IPv6を利用してバナーページの印刷を行った場合、IPアドレス部分は 0.0.0.0 として印刷されます。

利用方法

本製品のIPv6機能を有効にする

本製品のIPv6機能は工場出荷時設定にて機能しないよう設定されています。
IPv6機能を有効にするには以下の操作を行います。

1. 通常のTCP/IP設定によりIPv4アドレスを割り当てます。
(通常のTCP/IP設定は、第1章「プリンターのネットワーク設定」を参照してください)
2. Webブラウザ、または、telnetコマンドを用いて本製品にアクセスします。
3. 本製品の「TCP/IP設定」の「IPv6」項目を"ENABLE"に設定します。
4. 設定を保存後、本製品を再起動します。

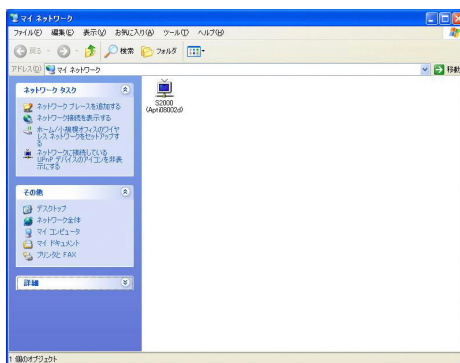
以上の操作にて本製品のIPv6機能が有効になります。

OSのIPv6機能を有効にする

OS環境下でのIPv6環境構築方法に関しましては、各OSのマニュアルをご参照ください。

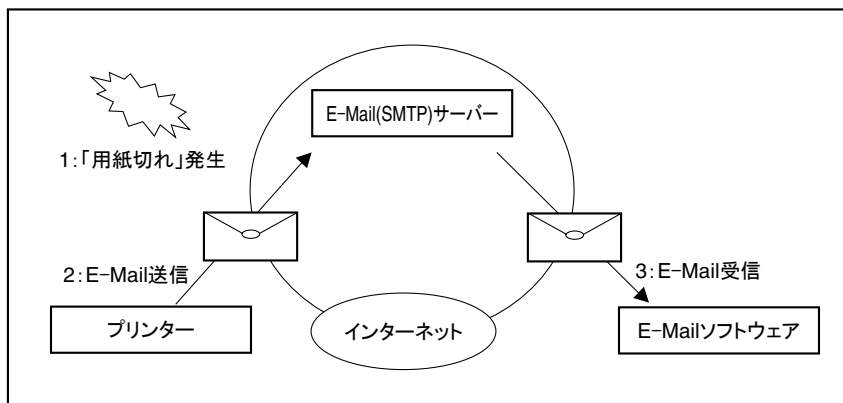
付録C Network Plug & Playについて

本製品は Windows Vista以降/2008以降の環境において自動的にネットワーク接続を検知することができます。本製品をネットワークに接続するだけで、Windowsの「マイ ネットワーク」内に本製品のアイコンが一覧表示されます。表示された本製品のアイコンをダブルクリックすることで、本製品のWebページが表示され、設定の変更やステータス情報の参照が行えます。



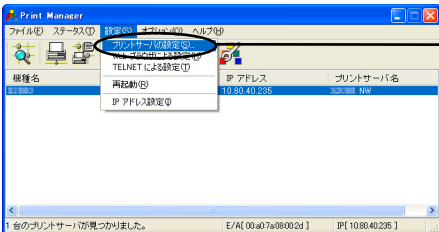
付録D E-Mail警告通知機能 (SMTP)

E-Mail警告通知機能を使用すると、プリンター・ステータスをE-Mailで検知することができます。本製品はプリンター・ステータスが変化する毎に、指定のE-Mailアドレス(2アドレスまで指定可能)にE-Mailでプリンター・ステータスを送信します。この機能を用いるとインターネットを介してプリンター・ステータスの「用紙切れ」「オフライン」「プリンタエラー」を検知することができます。

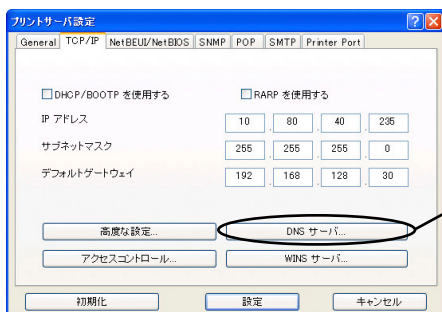


本機能の設定は、Print Manager、Webブラウザ、TELNETで行うことができます。Print Managerを使って本機能の設定を行う場合は、次の手順で行います。

1. Print Managerを起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。

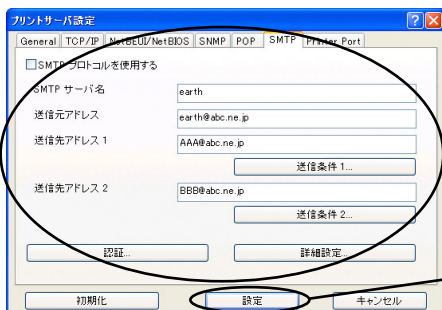
2.  「設定」メニューより「プリントサーバ設定」を選択します。

3.



「TCP/IP」タブより「DNSサーバ」をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力します。

4.



「SMTP」タブを選択し、E-Mailの送信先情報を入力します。

「設定」をクリックします。

5. 本製品を再起動した後、設定情報が有効になります。

本製品からは次のようなE-Mailメッセージが送信されます。

[PRINTER STATUS]

00:05:29
prn: OFF Line - Paper End
00:00:19
prn: OFF Line

プリンター・ステータス（プリンターエラーが発生した時間*とステータス文字列）

[SYSTEM STATUS]

(製品型番) NW Version *.*.*

MAC Address

00:A0:7A:08:00:2D

TCP/IP status

IP address : 10.80.40.235
Subnet Mask : 255.255.255.0
Gateway addr: 192.168.0.254
DNS server (Pri.): 0.0.0.0
DNS server (Sec.): 0.0.0.0

IPv6 status

Address #0000:FE80::02A0:7AFF:FE08:002D/10

NetBIOS status

NetBIOS over TCP: Registration completed

NetBEUI : Registration completed

Computer Name : APTi08002D

Workgroup Name : PRINTERSERVERS

Master Browser :

[NetBIOS over TCP] : APTI012345

[NetBEUI] : APTI01099E

本製品のシステム・ステータス

E-MAIL status:

Session:2 times.

All profiles are disabled.

SMTP status

TO-ADDR1

E-MAIL Address: <user1@abc.co.jp>

Last Session : Nothing

Current status: Waiting for Interval time.

Try to send : 0 times.

Fail to send : 0 times.

TO-ADDR2

E-MAIL Address: <user2@abc.co.jp>

Last Session : Nothing

Current status: Waiting for Interval time.

Try to send : 0 times.

Fail to send : 0 times.

(製品型番)

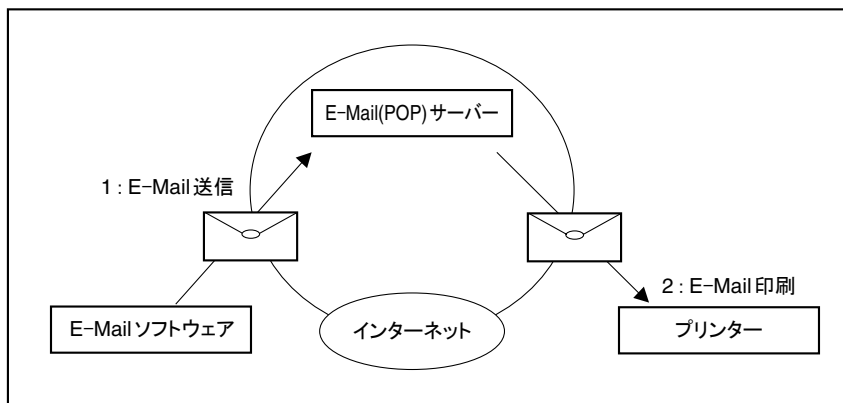
[00:A0:7A:08:00:2D]

本製品のシグネチャー情報

* 本製品を起動してからの時間。

付録E E-Mail印刷機能 (POP)

E-Mail印刷機能を使うと、インターネットを介して送信されてきたE-Mailデータを直接プリンタに出力することができます。プリンタに出力するE-Mailデータは、E-Mail本文およびE-Mailに添付されるテキストファイル(*.txt)、または、プリンター・ドライバーを介して生成された印刷データファイル(*.prn)を印刷することができます(ファイル拡張子が*.prn,*.txt以外の添付ファイルはファイル名のみが印刷されます)。

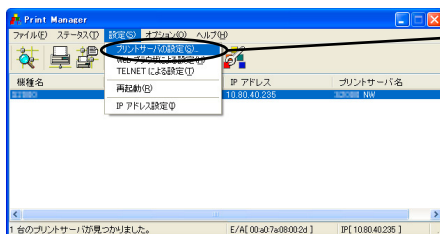


- プリンター・ドライバー生成ファイル(*.prn)を添付印刷する場合は、出力するプリンターのプリンター・ドライバーで生成された印刷データファイルを添付する必要があります。
- 添付ファイルのみを印刷する場合は、件名に"/nobody"の文字列を含んでE-mail送信してください。

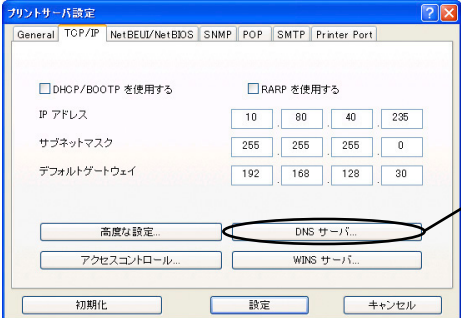
本機能の設定は、Print Manager、Webブラウザ、TELNETで行うことができます。Print Managerを使って本機能の設定を行う場合は、次の手順で行います。

1. Print Managerを起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。

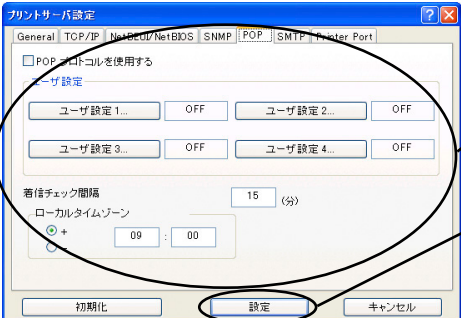
2.



「設定」メニューより「プリントサーバの設定」を選択します。

3. 

[TCP/IP] タブより「DNSサーバ」をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力します。

4. 

[POP] タブを選択し、E-Mailの受信アドレス情報を入力します。

「設定」をクリックします。



受信アドレス情報の各設定項目に関しては、第5章「Print Managerで本製品の設定を行う」を参照してください。

5. 本製品を再起動した後、設定情報が有効になります。

付録F 管理情報を確認する

Webブラウザ表示に関しては第5章「設定に関する機能」を、FTPに関しては第4章「UNIX/Linux環境で使用する」を参照してください。

プリンターの論理ポートステータスを確認する

Webブラウザ画面で確認する

Webブラウザ画面の「ポート情報」をクリックすることにより、論理ポートステータスを確認できます。

The screenshot shows the printer management web interface. On the left is a navigation menu with 'ポート情報' (Port Information) highlighted. The main content area displays system status information, including 'TCP/IP status' and 'NetBEUI/NetBIOS status'. An Internet Explorer browser window is overlaid on the right, displaying the 'ポート情報' (Port Information) window. This window contains a table with the following data:

Printer	Port	Status	Bytes printed	Comments
Ip1	prn	Available		No error
Ip2	prn	Available		No error
Ip3	prn	Available		No error
Ip4	prn	Available		No error
Ip5	prn	Available		No error
Ip6	prn	Available		No error

FTPで取得する

ルートディレクトリにて「get status」を実行することで、statusファイルが作成され下記例のような論理ポートステータスが格納されます。

statusファイルはASCII文字列にて構成されます。

例)

Printer	Port	Status	Bytes printed	Comments
lp1	prn	Occupied	0	Printing
lp2	prn	Occupied	0	Printing
lp3	prn	Printing	292215	Printing
lp4	prn	Occupied	0	Printing
lp5	prn	Occupied	0	Printing
lp6	prn	Occupied	0	Printing

内訳	
Printer	印刷先ポート (論理プリンターポート)
Port	物理プリンタポート
Status	論理ポートのステータス Available : 印刷可能 Printing : 印刷中 Occupied : 他の論理ポートで印刷中
Bytes printed	印刷済みバイト数
Comments	プリンターのステータス No Error : 印刷可能 Printer off-line: オフライン Printing : 印刷中 Paper out : 紙無し

プリンターの印刷ログを確認する



パラレル/Fからの印刷はログに格納されません。

Webブラウザ画面で確認する

Webブラウザ画面の「印刷履歴」をクリックすることにより、印刷ログを確認できます。

The screenshot shows a printer management web interface. On the left, a navigation menu includes '印刷履歴' (Print History) under the '管理情報' (Management Information) section. A black arrow points from this menu item to a detailed view of the print log on the right. The print log is a table with columns for JOB, USER, IP_Address, PROTIPTORT, S3, BYTES, and ETIME.

JOB	USER	IP_Address	PROTIPTORT	S3	BYTES	ETIME	
8	ABCD	BEUI	prn	C	37020	00'00'05	
7	ABCD	<user1@abc.	POP	lpt	C	230	00'00'05
6	root	192.168.128.200	FTP	lpt	C	213	00'00'05
5			USB	prn	C	1232	00'00'01
4	ABCD	192.168.128.100	NET	prn	C	39285	00'00'12
3	ABCD	192.168.128.100	IPP	lp2	C	39288	00'00'12
2		192.168.128.100	LFD	lp3	C	39314	00'00'13
1		192.168.100.2	RAW	pr3	C	38089	00'00'14

FTPで取得する

FTPのルートディレクトリにて「get account」を実行することで、accountファイルが作成され、下記例のような印刷ログが格納されます。

accountファイルはASCII文字列にて構成されます。

例)

JOB	USER	IP_Address	PROT	PORT	S	BYTES	ETIME
8	ABCD		BEUI	prn	C	37020	00' 00' 05
7	ABCD <user1@abc.	192	POP	lp1	C	230	00' 00' 05
6	root	192.168.128.200	FTP	lp6	C	213	00' 00' 05
5			USB	prn	C	1232	00' 00' 01
4	ABCD	192.168.128.100	NBT	prn	C	39285	00' 00' 12
3	ABCD	192.168.128.100	IPP	lp2	C	39288	00' 00' 12
2		192.168.128.100	LPD	lp3	C	39314	00' 00' 13
1		192.168.100.2	RAW	pr3	C	38089	00' 00' 14

内訳	
JOB	本製品内部に割り振るJOB-ID JOB-IDは、下記の範囲で照準に割り当てていき、最大値 (65535) に達した場合は1に戻ります。 16 bit unsigned : 1-65535 表示は、最大20JOBまでで、表示順はJOB_IDが大きい順となります。
USER	印刷ユーザー名 (16 byteまで) *1
IP_Address	IP_Address*2
PROT	印刷プロトコル LPD : LPD印刷 FTP : FTP印刷 RAW : TCP/IP Raw Port印刷 IPP : IPP印刷 POP : POP印刷 NBT : NetBIOS over TCP/IP印刷 BEUI : NetBEUI印刷 USB : USB印刷
PORT	ユーザーが印刷に使用した論理ポート名
S	印刷状況 (C : Complete、P : Printingの2つ)
BYTES	プリンターへの送信バイト数
ETIME	データ送信にかかっている、またはデータ送信終了までの時間 (時' 分' 秒' で表示)

- * 1 USB、TCP/IP Raw Port 印刷では、USER 名は空白となります。
POP 印刷では、USER 名< Mail アドレス>を最大 16 バイトまで格納します。
- * 2 NetBEUI、POP、USB 印刷では、IP_Address は空白となります。

JBアドバンスト・テクノロジー株式会社

<http://www.jbat.co.jp>